

2019 年度下関市立大学

国際交流白書

(下関市立大学における国際交流の実情について)



はじめに



本学では、今年度130名余りの学生が、派遣留学、外国研修、国際インターンシップ、その他の研修などを通じて、海外に飛び立ち、現地での貴重な学習・生活を体験しています。また、中国・台湾・韓国・ベトナム・マレーシア・パキスタン・ドイツ・タイ・トルコなどから、60名を超える留学生を迎えており、学部生、大学院生、特別聴講学生、科目等履修生として学びながら、日本での生活を楽しんでいます。

学内には、「国際交流会ともだち」、「JASH!!!」、「WSK」、「中国語しゃべっちゃイナ」などの学生組織があり、様々なイベントを開催することを通じて、留学生との交流を深めています。主なイベントには、留学生の手作り料理を味わう「世界の厨房から」や「餃子パーティー」、中国語、朝鮮語、日本語のスピーチコンテスト、留学生に母国の歴史や文化について紹介してもらう「日本にいながら世界を知ろう!!」などがあり、下関市民も交えて活発な交流がなされています。この白書では、これらの国際交流の実績を、豊富な写真も添えて、詳しく紹介しています。

本学の国際交流は、1988年4月に初めて外国人留学生を受け入れたことに始まります。その後1989年の中国・青島大学との交流協定締結を皮切りに、韓国の東義大大学校及び木浦大大学校、オーストラリアのグリフィス大学及びクイーンズランド大学附属英語学校、中国・北京大学、アメリカ・ロス・メダノス・カレッジ、トルコ・ボアジチ大大学、台湾・国立聯合大大学及び銘傳大大学、ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン経済大大学、カナダ・アルゴマ大大学へと拡大しました。そして2019年3月には韓国・釜山外国語大大学とも協定を結びました。

学生の皆さんには、これらの協定大大学への留学に積極的にチャレンジして、語学力のレベルアップを図るとともに、異文化体験を積んで、グローバル社会を生き抜く人材に育ってほしいと思います。私は中国近現代経済史を専門としており、中国や台湾での長期留学や研修も経験しました。私の初めての留学は、1990年代初頭の中国東北部地方都市であり、当時はまだ経済発展の波は押し寄せておらず、日本と違って日常生活は何をするにも大変不便でした。ただ、キャンパス内の教職員や学生は、あくせくと時間に追われることもなく、ゆったりとした雰囲気それぞれの生活を謳歌しているように見えました。また、日本人は珍しいということで、大変な歓迎を受けました。そうした交流の中で、私も中国の人々の価値観や行動様式を肌で理解することができました。

若い時期に海外に出て現地の人々と触れ合うことは、日本人としての自分自身を見直す良いきっかけとなり、その後の人生をより良く生きるための糧になります。学生の皆さんには、本学の国際交流のための諸制度を活用し、それぞれの海外体験、異文化交流を紡いでほしいと希望します。

2020年3月

下関市立大大学経済学部
学部長 飯塚 靖

目次

■ 下関市立大学の国際交流

在籍留学生数	2
海外留学等の体験者数	3
2019年度国際交流行事	4
下関市立大学でできる国際交流活動	5
日本にしながら世界を知ろう!!	6
日本文化の神髄を知ろう!!	8
下関市立大学スピーチコンテスト	10
下関市立大学の協定校・派遣留学とは	12
外国研修・国際インターンシップ・私費留学とは	14

■ 留学のための経費支援

奨学金	16
授業料・入学金減免制度	18
特待生	18

■ 留 学 (受入れ)

外国人留学生サポート	20
下関市立大学で学んだ留学生の感想文 (短期留学生)	22

■ 派遣留学

北京大学 (中国) の紹介	26
青島大学 (中国) の紹介	27
派遣留学体験記・参加者レポート	28
銘傳大学 (台湾) の紹介	30
東義大学校 (韓国) の紹介	31
派遣留学体験記・参加者レポート	32
木浦大学校 (韓国) の紹介	34
派遣留学体験記・参加者レポート	35
釜山外国語大学校 (韓国) の紹介	37
ロス・メダノス・カレッジ (LMC) (アメリカ) の紹介	38
ディアブロ・バレー・カレッジ (DVC) (アメリカ) の紹介	39
コントラ・コスタ・カレッジ (CCC) (アメリカ) の紹介	40
アルゴマ大学 (カナダ) の紹介	41
派遣留学体験記・参加者レポート	42
ボアジチ大学 (トルコ) の紹介	44
派遣留学体験記・参加者レポート	45
ルートヴィヒスハーフェン経済大学 (ドイツ) の紹介	47
派遣留学体験記・参加者レポート	48
クイーンズランド大学 (オーストラリア) の紹介	50
派遣留学体験記・参加者レポート	51
クイーンズランド大学附属英語学校 (ICTE-UQ) (オーストラリア) の紹介	53
グリフィス大学 (オーストラリア) の紹介	54
派遣留学体験記・参加者レポート	55

■ 外国研修

外国研修 (英語) / 参加者レポート	58
外国研修 (中国語) / 参加者レポート	61
外国研修 (朝鮮語) / 参加者レポート	64

■ その他の交流

生涯スポーツ b (韓国スキー実習を終えて)	68
私費留学 (釜山での3週間)	70
私費留学 (高麗大学校で得たもの)	72
私費留学 (ニュージーランド留学体験記)	74
国際インターンシップやPBL等による国際経験 (新たな「場所」で新たな「物語」を)	76

下関市立大学の国際交流

下関市立大学では、留学生の受入れ、留学生との交流行事、各種留学、国際理解のための様々な事業を行っています。

在籍留学生数

2019年度		中国	台湾	韓国	ベトナム	マレーシア	パキスタン	ドイツ	タイ	トルコ	小計	
学部1年生	男	6		4	3						13	学部生 46人
	女	1									1	
学部2年生	男	6		1			1				8	
	女	3				1					4	
学部3年生	男	2		1							3	
	女	3			2						5	
学部4年生	男	4		1							5	
	女	6			1						7	
大学院1年生	男										3	院生 5人
	女	3									3	
大学院2年生	男										2	
	女	2									2	
特別聴講学生 (交換留学生)	男	2		3				1			6	13人
	女	3	2	1				1			7	
科目等履修生 (外国人留学生)	男								1		1	2人
	女									1	1	
小計		41人	2人	11人	6人	1人	1人	2人	1人	1人	(5月1日現在)	

在籍留学生数合計

66人

2018年度		中国	台湾	韓国	ベトナム	マレーシア	パキスタン	ドイツ	タイ	トルコ	小計	
学部1年生	男	6		1			1				8	学部生 42人
	女	3				1					4	
学部2年生	男	2		1							3	
	女	3			2						5	
学部3年生	男	2									2	
	女	5			1						6	
学部4年生	男	8		1							9	
	女	5									5	
大学院1年生	男										2	院生 5人
	女	2									2	
大学院2年生	男	1									1	
	女	2									2	
特別聴講学生 (交換留学生)	男		1	2				2			5	13人
	女	5	1	2							8	
科目等履修生 (外国人留学生)	男	1							1		2	3人
	女									1	1	
小計		45人	2人	7人	3人	1人	1人	2人	1人	1人	(5月1日現在)	

在籍留学生数合計

63人

海外留学等の体験者数

年 度		2015	2016	2017	2018	2019
外国研修	中国語	10	24	29	30	27
	朝鮮語	16	12	16	13	28
	英 語	15	24	26	13	17
	小 計	41	60	71	56	72
派遣留学	北京大学	—	—	1	—	—
	青島大学	1	1	1	2	1
	銘傳大学	—	—	2	—	3
	東義大学校	2	2	1	3	2
	木浦大学校	2	1	2	2	2
	釜山外国語大学校	—	—	—	—	2
	ロス・メダノス・カレッジ	4	1	4	0	0
	ディアプロ・バレー・カレッジ	—	—	—	—	2
	コントラ・コスタ・カレッジ	—	—	—	—	—
	アルゴマ大学	—	4	1	5	3
	ボアジチ大学	1	—	1	1	2
	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	1	1	2	2	2
	クイーンズランド大学	2	2	2	3	—
	グリフィス大学	—	—	—	—	3
小 計	13	12	17	18	22	
国際インターンシップ	青島市（中国）	7	6	5	2	2
	釜山広域市（韓国）	—	3	6	4	2
	シンガポール	10	10	14	11	10
	小 計	17	19	25	17	14
その他研修・PBL・生涯スポーツ等		9	34	36	56	17
私費留学 (大学承認分)	中国語圏	—	—	1	—	—
	韓国語圏	—	—	—	1	1
	英 語 圏	—	5	2	6	5
	小 計	—	5	3	7	6
合 計		80 人	130 人	152 人	154 人	131 人
年 度		2015	2016	2017	2018	2019

この表は、派遣留学、単位認定を伴う科目での海外経験、外国研修やPBL等の参加者、及び大学で留学目的の休学を認められた私費留学の体験者数です。長期休暇中の海外旅行等は含んでいません。

2019年度 国際交流行事

4月2日(火)	新入留学生オリエンテーション
4月2日(火)	下関市内探検・防災ツアー
4月3日(水)	下関市リサイクルプラザ見学
4月4日(木)	入学式
4月4日(木)	新入生オリエンテーション「交通安全・防犯指導」
4月4日(木)	花柳流日本舞踊開講式
4月20日(土)	名陵校区地域こども教室交流
4月22日(月)	留学生歓迎会(国際交流会ともだち主催)
5月2日(木)	先帝祭関連行事「安徳帝正装参拝」
5月13日(月)	下関ロータリークラブ交流会(下関ロータリークラブ主催)
5月18日(土) 19日(日)	2018-19年度ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)
5月20日(月)	社会福祉法人三明会豊北きらきらこども園交流※以降定期開催
5月25日(土)	「和装で楽しむ城下町長府」(長府地区まちづくり協議会)
6月6日(木)	2019年度第1回日本にいながら世界を知ろう!!
6月9日(日)	下関塾(下関市主催)
7月10日(水)	世界の厨房から(国際交流会ともだち主催)
7月10日(水)	中国青島市からの友好交流団の来学
7月12日(金)	2019年度第2回日本にいながら世界を知ろう!!
7月13日(土)	2019年度第1回日本文化の神髄を知ろう!!
8月31日(土)	名陵校区地域こども教室交流
9月19日(木)	新入留学生オリエンテーション
9月20日(金)	下関市リサイクルプラザ見学
9月25日(水)	下関市内探検・防災ツアー
10月12日(土)～14日(月)	馬関祭(大学祭)
10月19日(土)	名陵校区地域こども教室交流
10月20日(日)	交通安全教室&BBQ party(しものせき国際交流ねっと)
10月27日(日)	櫻井八幡宮例大祭神役
11月7日(木)	第7回日本語スピーチコンテスト
11月13日(水)	2019年度第3回日本にいながら世界を知ろう!!
11月17日(日)	中国人による滞日体験発表会(下関市日中友好協会主催)
11月17日(日)	下関市国際交流プログラム in 深坂の森(下関市主催)
11月21日(木)	第11回中国語スピーチコンテスト
12月7日(土)	2019年度第2回日本文化の神髄を知ろう!!
12月11日(水)	第15回コリアンスピーチコンテスト
12月20日(金)	国際親善パーティー(下関市ユネスコ協会主催)
12月23日(月)	2019年度第4回日本にいながら世界を知ろう!!
1月11日(土)	第12回食・見・交・群～餃子パーティー～(協力:中国語しゃべっチャイナ)
3月25日(水)	卒業式(中止)

下関市立大学でできる国際交流活動

国際交流や国際理解は身近なところから始められます。海外に行かなくても下関市立大学の中で様々な国の方々と触れ合ったり、国際交流体験をしたり、国際理解をすることもできます。

例えば、中国をはじめとする台湾、韓国、ベトナム、マレーシア、パキスタン、ドイツ、タイ、トルコなどの国々からやってきた留学生が下関市立大学で修学しています。彼らと共に学び、サークル活動やイベントに参加することで、国際交流や国際理解、異文化理解が深まります。海外からのお客様をお迎えし、学生と交流をする企画等もあります。国際交流センターでは多くの学内外での国際交流活動の企画や紹介を行っています。

また、国際交流を行っている学内の学生サークルやサポート組織、自主サークルもあります。国際交流に関係のある学生グループの主な活動は以下のとおりです。

1. 国際交流会ともだち

- 4月 留学生歓迎会
- 5月 交流キャンプ
- 7月 世界の厨房から
- 10月 大学祭への出店や国際交流イベント
- 12月 ユネスコ協会主催国際親善パーティーのサポート
- 1月 留学生送別会



2. JASH!!!

- 週2回 英語によるプレゼンテーションやコミュニケーションスキルの学習
- 10月 ハロウィンパーティー
- 12月 クリスマスパティー

3. WSK

- 国際ボランティア活動
- Table for Two などの企画
- 世界のボランティア活動紹介
- 夏休みや春休みに海外でボランティア活動に参加



4. 中国語しゃべっチャイナ

- 週2回 中国語によるプレゼンテーションやコミュニケーション、中国文化学習
- 11月 中国語スピーチコンテストのサポート
- 1月 食・見・交・群～餃子パーティー～のサポート



日本にいなから世界を知ろう !!

「日本にいなから世界を知ろう!!」は、下関市立大学の学生や地域のみなさんに、世界中で起きていることや暮らしの様子、歴史的な事柄などを、各テーマ国の方や、その国で暮らしたことのある方々にお話をさせていただく企画です。2019年度は4回開催しました。

第1回

タイトル：トルコについて聞きましょう・知りましょう！

開催日時：2019年6月6日(木)

講師：オズデル イレム ギュル (科目等履修生)

参加者数：19名

内容：トルコのボアジチ大学から本学に留学しているイレムさんに、母国トルコについて紹介してもらいました。トルコの歴史・文化、日本との共通点や違いについて語ってもらいました。



第2回

タイトル：僕らの国ベトナムについてお話します!!

開催日時：2019年7月12日(金)

講師：グエン バオ ソン (経済学部 国際商学科1年)

ゴ ディン クアン ニャット (経済学部 国際商学科1年)

トン バン タン (経済学部 国際商学科1年)

レー ティー ホン ニュン (司会 経済学部 国際商学科3年)

参加者数：17名

内容：ベトナムからの学部留学生3人に、母国ベトナムについて話してもらいました。地理や経済、そして伝統や食、宗教などの文化について、わかりやすく説明してもらいました。



第3回

タイトル：「微笑みの国タイ」からの留学生が語ります!!

開催日時：2019年11月13日(水)

講師：ウォンシンハデーショー ウッティポン (科目等履修生)

参加者数：18名

内容：タイから本学に留学しているポンさんに母国タイについて紹介してもらいました。ポピュラーな遺跡や伝統的なお祭り、食文化はもちろん、現地の人々以外にはあまり知られていないことも楽しく教えてもらいました。



第4回

タイトル：シベリアのパリと称されるイルクーツク（ロシア）の魅力と今を知ろう!!

開催日時：2019年12月23日(月)

講師：バレンティーナ ボトホエバ

(山口県観光スポーツ文化国際課 国際交流員)

参加者数：12名

内容：2018年8月からロシアより山口県へ国際交流員として赴任されているバレンティーナ先生に講演していただきました。出身地のイルクーツク市（シベリア）についてのお話も交え、ロシアの気候や文化だけでなく、キリル文字講座もあり、盛りだくさんの内容でした。



日本文化の神髄を知ろう !!

「日本文化の神髄を知ろう！！」では、留学生を含む本学の学生全員に日本文化への興味を喚起し、理解してもらうことを目的として、2008(平成20)年度から毎年開催しています。

2019年度は2回開催しました。

第1回

タイトル：下関酒造で学ぼう日本の文化と歴史

実施日：2019年7月13日(土)

参加者数：14名

内容：下関酒造株式会社（下関市幡生宮の下町）を訪問しました。日本酒と日本の歴史や文化が深く関係していることや酒造りの精神のほかに下関酒造の日本酒販売経営戦略についても学びました。講義終了後は酒蔵見学をし、成人している学生は、様々なランクの日本酒を試飲してその差を味わいました。





第2回

タイトル：そば打ち体験と日本人のルーツをたどる旅

実施日：2019年12月7日(土)

参加者数：15名

内容：1日バス旅行でみのりの丘（下関市豊田町）でのそば打ち体験をしました。自分で打ったそばや、地元のお母さんたちの手作りのおかずを、みんなでいただきました。その後、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム（下関市豊北町）を見学しました。中国大陸に頭を向けて埋葬されたたくさんの人骨レプリカに驚き、日本人のルーツを感じました。バスでの移動時間は、留学生と日本人学生が楽しく交流するひとときになりました。



下関市立大学スピーチコンテスト

下関市立大学では、毎年日本語、中国語および朝鮮語のスピーチコンテストを開催しています。いずれのスピーチコンテストも幅広く門戸を開き、初心者から上級者までどなたでも参加できます。学内外の中学生から成人まで、多くの方々に参加していただいています。

1. 第7回日本語スピーチコンテスト

開催日時：2019年11月7日(木)

開催場所：A-101教室

出場人数：19名

入賞者：

最優秀賞 1名 王 海楠 (下関市立大学1年)

優秀賞 3名 オズデル イレム ギュル (下関市立大学 科目等履修生)

グエンティ イェン リン (東亜大学1年)

ワラタラ アチャリゲ ラヴィーナ タマリ (東亜大学1年)

国際交流委員会賞 15名



2. 第11回中国語スピーチコンテスト

開催日時：2019年11月21日(木)

開催場所：I-206教室

出場人数：32名

入賞者：

最優秀賞 3名 (各部門1名)

弁論の部 本池 紫織 (北九州市立大学3年)

暗誦の部 加悦 優莉 (下関市立大学3年)

朗読の部 親富祖 日向子 (下関市立大学1年)



優秀賞 6名 (各部門2名)

弁論の部 石田 和典 (北九州市立大学3年)

福留 紅美 (北九州市立大学3年)

暗誦の部 櫻木 ひさの (山口県立大学2年)

大坂 彩華 (山口県立大学2年)

朗読の部 鈴木 もも (梅光学院大学1年)

中田 珠優 (梅光学院大学1年)

国際交流委員会賞 23名

審査員特別賞 2名 河村 星奈 (下関中等教育学校2年)

高見 倫平 (下関市立大学2年)



3. 第15回コリアンスピーチコンテスト

開催日時：2019年12月11日(水)

開催場所：I-206教室

出場人数：25名

入賞者：

最優秀賞 3名 (各部門1名)

弁論の部 作野 佑衣 (下関市立大学2年)

暗誦の部 岩久 美来 (梅光学院大学1年)

朗読の部 加悦 優莉 (下関市立大学3年)

優秀賞 6名 (各部門2名)

弁論の部 西 春南 (山口県立大学2年)

浦 萌々夏 (梅光学院大学1年)

暗誦の部 尾ノ上 ひかる (下関中等教育学校4年 (高校1年))

山下 瑠璃 (梅光学院大学1年)

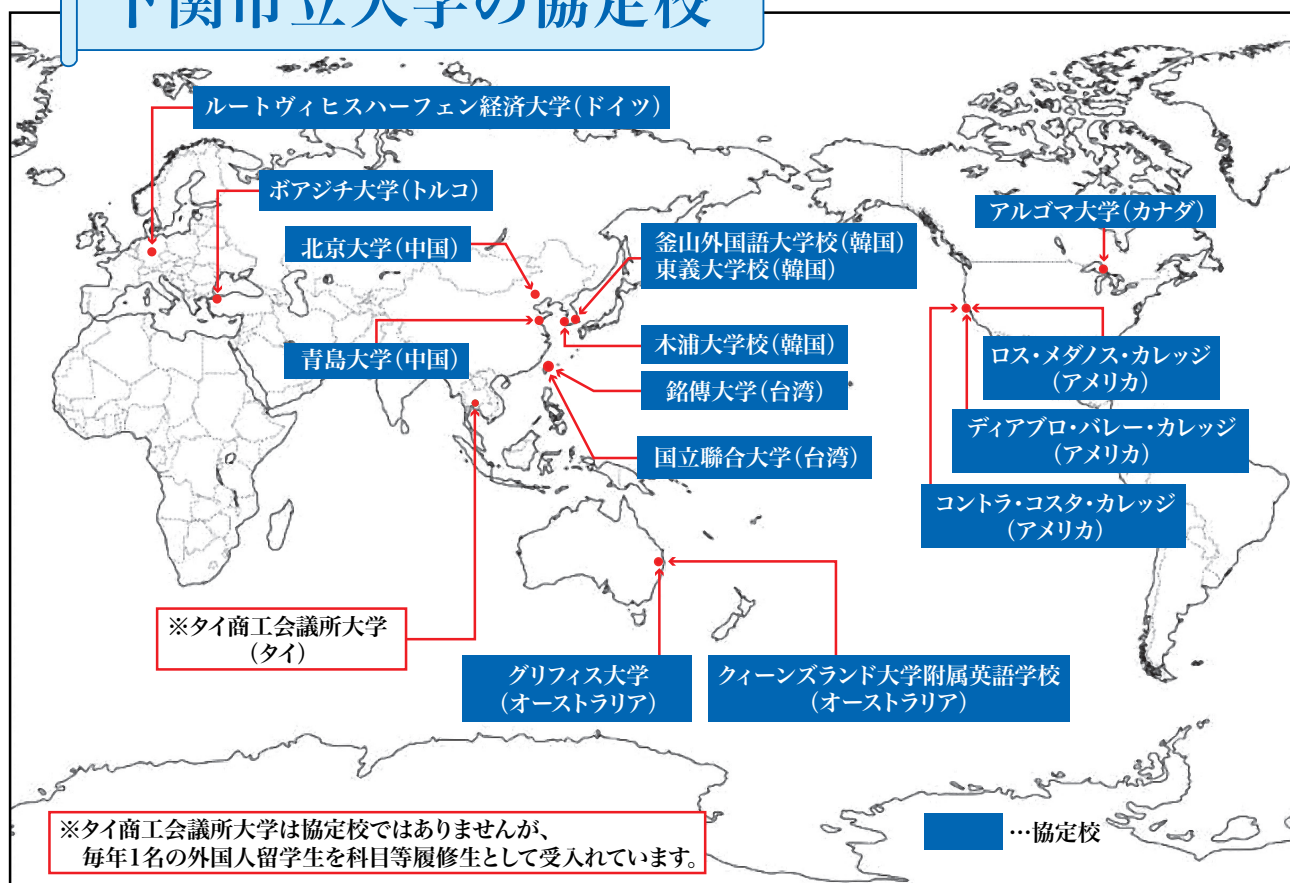
朗読の部 圓道 琴音 (梅光学院大学1年)

杉田 青空 (東亜大学3年)

国際交流委員会賞 16名



下関市立大学の協定校



下関市立大学には、3つの理念と目的があります。その中の一つに「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」があります。下関市立大学では下関からアジア、さらには世界へと目を向けることで、現在の国際関係がどのような構造を持っているか、また、それがどのようにして作られてきたのかを理解できる教育を行っています。教職員と学生が一体となり、世界へ広がるネットワークを形成しています。

この理念に基づき、本学には世界各国に協定校があります。2019年5月現在、中国に2校、台湾に2校、韓国に3校、アメリカに3校、カナダに1校、トルコに1校、ドイツに1校、オーストラリアに2校の合計15校の協定校があります。これらの協定校との交流は、学術交流や学生間交流等様々ですが、相互に交流を深めています。

●派遣留学とは……

派遣留学とは、1学期間～1年間、本学に在籍したまま海外の協定校に留学することです。留学期間は4年間の修業年限に含まれます。また、派遣先大学で修得した単位は、帰国後所定の手続きを経て本学の授業科目に単位認定されます。

授業料は、原則下関市立大学に納入することになりますが、派遣先大学に授業料を納付する場合もあります。その場合は所定の手続きを経て本学の授業料が免除されます。

なお、派遣留学申請をするためには、必要な資格や語学レベル等の条件があります。募集期間や派遣人数、試験内容、必要資格等は次ページのとおりです。

詳細については、国際交流センターへお問い合わせください。

1. 第Ⅰ期派遣学生

- (1) 募集期間 10月1日～11月20日
 (2) 派遣先協定校 表1参照
 (3) 選抜試験の時期 11月20日～12月5日頃（面接試験・筆記試験）
 (4) 派遣学生の決定 12月第4週

表1

国・地域名	中 国		台 湾	アメリカ	トルコ	ドイツ	カナダ	オーストラリア
大学名	北京大学	青島大学	銘傳大学	CCCCDの3大学 ロス・メダノス・カレッジ ディアプロ・パレー・ カレッジ コントラ・コスタ・ カレッジ	ボアジチ 大学	ルートヴィヒス ハーフェン 経済大学	アルゴマ 大学	クイーンズ ランド 大学附属 英語学校 (ICTE-UQ)
派遣期間	9月～翌年8月			8月～ 翌年7月	9月～翌年8月		5月～翌年3月 9月～翌年8月	2月～同年9月 8月～翌年3月
	1学期間（1セメスター）のみの申請も可能ですが、1年間を希望する学生が優先になります。							
募集人数	2名以内	5名以内	3名以内	4名以内	2名以内	2名以内	4名以内	半期× 4名以内
選抜試験	筆記試験および面接試験			面接試験				
必要資格	中国語検定 3級 HSK4級	中国語検定 4級 HSK3級	中国語検定 4級 HSK3級	IELTS 5.5点 TOEFLiBT 61点	IELTS 6.5点 TOEFLiBT 79点	IELTS 5.5点 TOEFLiBT 70点 TOEIC 650点	IELTS 6.0点 TOEFLiBT 79点	英検、TOEIC、 IELTS、TOEFLiBT いずれかの 受験結果
授業料 納入先	北京大学 (下関市立大学 の授業料免除)	下関市立大学		CCCCDの各大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	下関市立大学		アルゴマ大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	ICTE-UQ (下関市立大学の 授業料は免除)

2. 第Ⅱ期派遣学生

- (1) 募集期間 4月1日～5月20日
 (2) 派遣先協定校 表2参照
 (3) 選抜試験の時期 5月20日～6月5日頃（面接試験・筆記試験）
 (4) 派遣学生の決定 6月第4週

表2

国・地域名	韓 国			オーストラリア	
大学名	東義大学校	木浦大学校	釜山外国語 大学校	グリフィス大学	グリフィス大学附属 英語学校 (GELI)
派遣期間	3月～翌年2月			2月～翌年1月	9月～翌年2月
	1学期間（1セメスター）のみの申請も可能ですが、1年間を希望する学生が優先になります。				
募集人数	2名程度	2名程度	2名程度	2名程度	
選抜試験	筆記試験および面接試験			面接試験	
必要資格	—			IELTS 6.0点 TOEFLiBT 71点	英検、TOEFLiBT、 TOEIC、IELTS いずれかの受験結果
授業料 納入先	下関市立大学			グリフィス大学 (下関市立大学の授業料は免除)	GELI

●外国研修とは……

夏季休業中に2～5週間、海外の協定校などで行う語学研修のことを外国研修といいます。外国研修では、語学の研修だけでなく、様々な文化体験や交流行事がプログラムされています。

「外国研修（英語、中国語、朝鮮語）」は、正規の授業科目で、秋学期に国際コミュニケーションの単位（2単位）として認定されます。

1. 過去3年間の記録

	2017年			2018年			2019年		
	受入れ機関	国・地域名	参加人数	受入れ機関	国・地域名	参加人数	受入れ機関	国・地域名	参加人数
英語	ICTE-UQ	オーストラリア	26人	VIEC Education Canada Ltd	カナダ	13人	ICTE-UQ	オーストラリア	17人
中国語	青島大学	中国	29人	銘傳大学	台湾	30人	青島大学	中国	27人
朝鮮語	東義大学校	韓国	16人	東義大学校	韓国	13人	東義大学校	韓国	28人
	合計	71人		合計	56人		合計	72人	

2. 2020年度の実施予定プログラム

言語	受入れ機関	国・地域名	引率教員	期間
英語	ICTE-UQ	オーストラリア	クリステン サリバン	5週間
中国語	銘傳大学	台湾	秋山 淳	2週間

●国際インターンシップとは……

国際インターンシップは、海外における企業の現場で働く体験をすることにより、自ら考え学ぶ意識を持つことを目標に実施しています。

事前学習4.5時間（事前講義）、夏季休暇中の就業体験（計40時間以上）、そして報告書の作成・提出、報告会での発表などの事後学習（4時間）を経て、総合的に評価され秋学期に単位認定されます。

●私費留学とは……

本学を休学して、海外の大学などに私費で留学をします。（単位認定を目的とした私費留学の制度もあります。） また、夏季休暇中などを利用して協定校附属の語学学校などで、語学を修得することもできます。

留学のための経費支援

外国人留学生や日本人留学生のために奨学金や授業料の減免措置などの経済的支援があります。

奨学金

海外留学支援制度（短期派遣・短期受入れ）（対象：日本人留学生および外国人留学生）

協定校へ派遣留学する日本人留学生および協定校から本学に受け入れる留学生を対象とした、返還の義務のない給付型奨学金です。独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）から支給され、月額甲地域80,000円、乙地域70,000円、丙地域60,000円（2019年度実績）です。3ヶ月以上1年未満の留学期間に応じて支給されます。本学における協定校別受給者数は以下のとおりです。

海外留学支援制度（給付型奨学金）受給者数一覧表

〈単位：人〉

国名 (区分)	受入/ 派遣大学	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
		受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣
中国 (丙)	北京大学										
	青島大学	5	1	5	1	5		5	2	5	
台湾 (丙)	銘傳大学			2		2	2	1		2	2
韓国 (乙)	東義大学校	2			2	2	1	2	2	1	
	木浦大学校		2	2	1	2	1	2	2		2
	釜山外国語 大学校										
アメリカ (甲)	ロス・メダノス・ カレッジ ディアブロ・ バレー・カレッジ コントラ・コスタ・ カレッジ		3								
カナダ (甲)	アルゴマ大学										
トルコ (甲)	ボアジチ大学		1				1				1
ドイツ (甲)	ルートヴィヒス ハーフェン経済大学	1	1	2		2	1	1	1	1	2
オーストラリア (乙)	クィーンズランド 大学		1		1		1		3		
	グリフィス大学										

■ = 給付対象者なし

第二種奨学金（短期留学）（対象：日本人学生）

協定校へ派遣留学する日本人学生を対象とした、返還の義務のある貸与型奨学金です。日本学生支援機構に所定の手続きを行うことで、派遣先大学への派遣留学期間に奨学金の貸与を受けることが可能です。

貸与金額は以下のとおりです。

30,000円（学部生のみ）、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円、150,000円（大学院生のみ）から選択できます。

下関東ロータリークラブ奨学金（対象：日本人学生）

下関東ロータリークラブが、英語圏に留学する日本人学生を対象に月額50,000円の奨学金を支給しています。

外国政府等奨学金（対象：日本人学生）

外国政府および外国政府関係団体等が、その国や地域の大学等へ留学する日本人を対象に奨学金を支給しています。募集中の奨学金については学内の掲示板に随時掲示しています。

文部科学省外国人留学生学習奨励費（対象：外国人留学生）

我が国の大学等に在籍する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れ、経済的理由により修学に困難がある者に対し、奨学金を1年間給付する制度です。

2019年度は大学院・学部とも月額48,000円が給付されました。

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者数一覧表

〈単位：人〉

採用時期	所 属	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
		応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者
4月採用	学 部	13	2	5	1	7	1	9	1	7	2
	大学院	2	2	2	2	1	1	2	1	2	1
10月採用	学 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大学院	4	1	5	1	2	1	—	—	—	—
合 計		19	5	12	4	10	3	11	2	9	3

下関市住居費助成金（対象：外国人留学生）

他団体から住居費等の支援を受けていない私費外国人留学生で、下関市内に居住し、学業が優秀な者に対して、下関市から実際に負担した月額住居費の2分の1の金額（上限10,000円）が支給されます。

下関市住居費助成金受給者数一覧表

〈単位：人〉

所 属	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者
学 部	18	8	16	9	21	8	10	7	26	4
大学院	4	2	3	0	2	0	0	0	2	1
合 計	22	10	19	9	23	8	10	7	28	5

公益財団法人ロータリー米山記念奨学金（対象：外国人留学生）

採用年度に学部3・4年生あるいは大学院に在籍している（在籍予定者を含む）外国人留学生で、日本以外の国籍および在留資格「留学」を有し日本に在留している者を対象に、学部留学生月額100,000円、大学院留学生月額140,000円が給付される奨学金制度です。学業、人物ともに優れた45歳未満の者が対象です。受給期間は最長2年間ですが、他の奨学金との併給はできません。

公益財団法人平和中島財団奨学金（対象：外国人留学生）

採用年度に正規課程に在籍している（在籍予定者を含む）私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、月額30,000円を超える他の奨学金を受給していない者に対して、月額100,000円が給付されます。受給期間は1年間です。

公益財団法人朝鮮奨学会 大学・大学院奨学生（対象：外国人留学生）

採用年度に正規課程に在籍している韓国人・朝鮮人学生のうち、成績が優良で学費の支弁が困難な者で、当奨学金と同額以上の給与奨学金を受給していない者に対して、学部生月額25,000円、大学院生月額40,000円が給付されます。受給期間は1年間ですが、継続生として応募することで2年間の受給も可能です。

株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金（対象：外国人留学生）

採用年度に在籍残期間が最低2年以上の外国人留学生で、学業、人物とも優れており、月額50,000円を超える他の奨学金を受給していない者に対して、月額60,000円が給付されます。受給期間は1年間です。

公益財団法人SGH財団奨学金（対象：外国人留学生）

採用年度に学部3年次かつ東南アジア諸国の国籍を有する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、他の奨学金を受給していない者に対して、月額120,000円が給付されます。受給期間は2年間です。

各種奨学金受給者数一覧表

〈単位：人〉

奨学金名	所 属	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
		応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者
公益財団法人 ロータリー米山 記念奨学金	学 部	1	0	1	1	—	1	—	—	1	0
	大学院	3	0	3	0	—	—	—	—	0	0
公益財団法人 平和中島財団 奨学金	学 部	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0
	大学院	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
公益財団法人 朝鮮奨学会 奨学金	学 部	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0
	大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 共立メンテナンス 奨学基金奨学金	学 部	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0
	大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公益財団法人 SGH財団 奨学金	学 部	—	—	0	0	0	0	1	0	1	1
	大学院	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0

授業料・入学金減免制度

学部および大学院に在籍する私費外国人留学生が対象の制度です。私費外国人留学生が属する世帯の総所得金額が別に定める基準額以下の学生で、学業成績が良好で最短在学期間で卒業または修了できる見込みがある場合には、授業料および入学金の額の2分の1に相当する額が減免される制度です。

授業料・入学金減免実施状況

〈単位：人〉

	学 期	所 属	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
			申請者	減免決定者	申請者	減免決定者	申請者	減免決定者	申請者	減免決定者	申請者	減免決定者
授業料 減免	前 期	学 部	44	42	43	42	34	34	32	31	36	35
		大学院	7	7	7	7	6	6	5	5	5	5
	後 期	学 部	45	44	42	42	35	34	34	34	36	33
		大学院	7	7	7	7	6	6	5	5	5	5
入学金減免	学 部	9	7	7	7	6	6	8	5	9	6	
	大学院	4	4	3	3	1	1	2	2	3	3	

特待生（留学生枠）

学力が優秀であると認められる学部学生を特待生として認定する制度があります。特待生の人数は学部留学生全員から2名、期間は1年間です。

特待生の認定は、前年度の成績に基づき行われます。ただし、入学後4年を超えて在学している留学生や懲戒を受けている留学生は対象外となります。

特待生となった留学生は、認定された期間の授業料の2分の1に相当する額が免除されます。

留学（受入れ）

外国人留学生サポート

留学生チューター制度

本学に在籍する外国人留学生や外国人の特別聴講学生および科目等履修生のために学修や生活の支援を行う留学生チューター制度があります。留学生チューターは、原則として2年生以上の学生（大学院2年生を含む）の中から学長が委嘱します。サポート期間は入学後1年間です。

留学生チューターは、原則留学生1名に対して1名が学習面だけでなく生活面のサポートも行います。下関市内探検・防災ツアーやリサイクルプラザ見学など、留学生と留学生チューターの交流を深める行事もあります。

また、月に1度開催される留学生チューター会では、必要なサポート指導や連絡事項の伝達のほか、留学生チューター同士の意見交換会などの交流も行います。

外国人留学生との面談

2003年度から1年に1回、下関市立大学国際交流委員による学部および大学院留学生の個別面談を実施しています。

この面談では、これまでの学習や健康状態、アルバイトの状況、今後の履修や生活の計画、卒業後の進路相談、そして大学への要望等の聞き取りを行っています。留学生活における問題点をより早く解決し、相談や助言を通して教職員と留学生の交流を深めることができます。

留学生のための学内行事

下関市内探検・防災体験ツアー（4月・9月）

環境みらい館見学・紙すき体験（4月・9月）

留学生歓迎会（4月）

留学生の面談（4～5月）

日本文化の神髄を知ろう!!（7月・1月）

日本語スピーチコンテスト（11月）



花柳流日本舞踊教室への参加

SCU国際交流会館1階で、花柳流師範の花柳英佳和先生による日本舞踊教室が毎週2回開講されています。受講料は無料で、日本人学生も参加できます。

稽古（練習）の成果は、7月の世界の厨房から（国際交流会ともだち主催）や10月の大学祭で披露します。

外国人留学生と地域住民の交流

外国人留学生は、様々な形で市民との交流を図り、今や「小さな国際都市・下関」にとって、なくてはならない存在です。外国人留学生の活動は、交流学习への派遣、地域の各種イベント等への参加、ボランティア活動への参加などがあります。

（1）交流学习への留学生の派遣

国際理解教育に取り組んでいる地域の小・中・高等学校の児童や生徒と触れ合うことにより、留学生の文化や生活習慣などの紹介をしています。また、要請があれば国際交流や国際理解に関心のある幼稚園等への派遣にも対応しています。

- ・名陵校区地域こども教室（偶数月）
- ・社会福祉法人三明会豊北きらきらこども園（毎月）

（2）地域の各種イベント・ボランティア等への参加について

外国人留学生は地域での各種イベントに積極的に参加しています。定期的に参加しているイベントは以下のとおりです。

- ・花見例会（4月）－下関中央ロータリークラブ－
 - ・酒造祭り（4月・10月）－下関酒造－
 - ・先帝祭 安徳帝正装参拝（5月）
 - ・下関市内在住留学生交流会（5月）－下関ロータリークラブ－
 - ・下関塾（6月）－下関市－
 - ・関門女子旅まちあるき（6月）－関門海峡観光推進協議会－
 - ・朝鮮通信使行列参加・通訳ボランティア（8月）－下関市－
 - ・滞日体験発表会（11月）－下関日中友好協会主催－
 - ・日中友好交誼会（11月）－下関日中友好協会主催－
 - ・国際親善パーティー（12月）－下関市ユネスコ協会主催－
- その他にもたくさんのイベントに参加しています。



すべての始まりは難しい

氏 名：タイ ダン ハラウラ (特別聴講学生)
出身 大学：ルートヴィヒスハーフェン経済大学 (ドイツ)
留 学 期 間：2018年9月～2019年8月



下関に到着した最初の2ヶ月は、日本の文化に慣れたり、日本語を学んだり、そして時差ぼけを解消したりすることに忙しかった。下関の第一印象はできる活動があまりなくて、静かで小さい町だったので複雑な気持ちでちょっとがっかりしたが、同時にまた興奮した。下関市立大学を選ぶ時、例えば東京に比べて大きくないことを知っていたが、ドイツとは違うことに慣れているので、そんなに活動がないとは思わなかった。ポジティブカルチャーショックは、人々の親切で丁寧でとても素敵な行動だった。一般的に日本はとても素敵な人々が多い国だが、下関市ほど知り合った人が親切な町はないと思う。たぶん理由は大都市に比べてとても忙しくないからかもしれない。下関にはとてもいい人がいっぱいいるので、すぐに住み心地が良くなった。

さらに、私が下関市立大学の好きなところは住んでいる町についてもっと知り、日本の文化についても学ぶことができる様々な遠足の誘いだ。そしてホストファミリープログラムが一番好きなオファーだった。ホストファミリーのおかげで、茶道やもちつきなど、日本の伝統についてさらに経験ができた。そのプログラムが終わり、すぐにドイツに帰る予定であっても、私たちは家族のようになった。もちろんこれからも連絡を取り合うつもりだ。

日本で最初の数ヶ月間は言葉の壁のせいでもとても困難で疲弊した。田中さん以外は誰も英語が話せない、授業もすべて日本語で説明するので必死だった。しかし、それでもポジティブになるべきだと思う。この状況のおかげで私の日本語は画期的に上達することができた。もしかするとこの進歩は他の人々の目には大きくないかもしれないが、私にとっては大きな進歩だ。留学前は日本語がとても下手で、話すのも理解するのも難しかった。でも今は会話がなめらかになったと思う。私の意見では、新しい言語を学ぶための最良の方法は新しい言語を話すことを余儀なくされることだ。

総じて素晴らしい時間と素晴らしい経験をし、新しい人と知り合い、友達を作った。下関は大都市ではないがこの大学を選んだことを私は後悔しているか？「絶対にない！」 私はすべての小さな経験までも感謝している。それは人生を豊かにするものだ。

留学してよかった

氏 名：王 俱揚 (特別聴講学生)
出身 大学：青島大学 (中国)
留 学 期 間：2018年9月～2019年8月



留学生活を振り返ってみると、まるで夢みたいな一年間でした。

来たばかりの時、店でどうやって注文すればいいかも分からないし、コンビニで「温めはどうしますか」と聞かれても聞き取れなくて大変でした。今思い出すと笑ってしまうのは電話です。一番怖かったのは電話することでした。誰かに電話する時、聞きたいことはどうやって聞か、相手はどんな返事をするか、それに対してどうやって返事すればいいのかなど、必ず事前に考えてメモしておかないと電話できなかったです。でも今はもう平気で、余裕で電話するようになりました。

この一年間で日本語運用能力を高めたほかに、思い出もたくさん作りました。その中で一番忘れられないのは友達誕生日を祝ってくれたことでした。誕生日の時には寮でみんな一緒にパーティーをしました。誕生日ケーキも作ってもらったし、誕生日の歌も歌ってもらったし、心を込めたプレゼントもたくさんもらいました。留学する前にこんなにたくさんの方々と一緒に誕生日を祝うなんて全然考えられなかったです。みんな日本人じゃないけど、みんな日本語で喋って心が繋がるのもとても不思議で素敵なことだと思います。

帰る前に何回も帰る時のシーンを考えたことがあります。そんなに悲しくないとはいえませんが、本当に別れになって、空港へ行く車に乗った時、めちゃくちゃ悲しくて堪えられなくなりました。寮のみんな、先生のみんな、海響館のメンバーたち、お世話になったおじいちゃんとおばあちゃんたち、ここでできた他の友達などに長い間に会えないことを考えると涙が止まらなくなりました。でも、留学してよかったという考えは少しも変わることはないです。大好きなみんながいる下関市はまるで私の第二の故郷みたいで、きっといつか戻って来ると思います。

初秋の出会い、真夏の別れ

氏 名：毛 興寛 (特別聴講学生)
出身 大学：青島大学 (中国)
留 学 期 間：2018年9月～2019年8月



初秋、私達はSCU国際交流会館にきた。その日のシーンは今もはっきり覚えている。「山の中の寮なのか、まあまあいいじゃない？ 静かだし。」私はアニメのキャラクターにでもなった気がした。たまに虫たちが遊んでくれる。すぐ後ろに山が見える。鈴虫の音で寝て、春はうぐいす、夏は蝉の音で起きる。夜になると星がきらきら輝き、タケコプターで飛んでいきたいと思った。

一期一会の友情バイト先で知り合った友達とのバーベキューも忘れない！松ぼっくりを拾ったり、椅子が壊れて倒れた矢野君がタレを飛ばしてしまったり。真っ黒な空にあがった火花が私達を照らしていた。

帰国の日が近づいたせいか、寮で食事が多くなった。みんなで乾杯する。過去の楽しかった日々の続き、そして未来に待つ寂しい別れのため。共にいれば「気取って上品に」など考える必要はなく、何も気にせず心の底から大笑いできた。

みんなで初めて集まった時の自己紹介
私達の間だけで伝わる「1階」という言葉
「夜は1階で食事会しよう」
「ゲームやろう」

一緒に出掛けた長府への小旅行
「いっしょに学校に行こう」
「オッケー、私お菓子持って行く」

食べ放題のいちご狩り
「今日はサボりたいな」
「じゃ飲み物を持って行く!!」

いつものようにいつも通りにしているけど、8月になったら、みんなと過ごした会館から去ることになる。同じ会館の中で新たな入居者たちが思い出を紡ぐ。この上なく楽しい時間は二度と戻らない。

友よ、さよなら、そしてありがとう！すべての思い出は時間の流れの中で薄くなるだろうけど、みんなを忘れない。次のステップに向かう。歌詞のように…。

*ひとりになるのが 恐くて つらくて
越えて 僕ら 孤独な夢へと歩く*

優しいひだまりに 肩寄せた日々を
真夏、がらがらの寮に「さよなら。帰るぞ…。」

留学一年間の感想

氏 名：賈 子寒 (特別聴講学生)
出身 大学：青島大学 (中国)
留 学 期 間：2018年9月～2019年8月



下関にきたばかりの時の緊張感は記憶にはっきり残っていて、国に帰る時とは思えません。大都市の雰囲気と違い、下関はとても静かな町です。母国と違う食べ物、生活スタイル、すべてが新鮮でした。ここみんなは親切で、あたたかく私たち留学生に接してくれました。すぐく人見知りをする私にとってとてもありがたかったです。本格的な一人暮らしも初めてなのでワクワクしていました。来る前には、国が違うから生活もたぶん違うだろうと思っただけでしたが、実はそうでもありませんでした。初めは少し寂しいと感じましたが、今はだんだん慣れてきて、一人の生活を楽しました。

この一年間で日本の大学生活を実際に体験しました。中国よりプレッシャーが少なく、先生もみんなも優しく、とても楽しかったです。日本でも学修できないことも学びました。日本語で話す勇氣も日々高まりました。

休日勉強と遊びのバランスをうまくとっていました。唐戸に行ったり映画を見たりしました。生まれて初めてアルバイトをしました。たまにとっても疲れていて嫌な気持ちになったけれど、バイトを通じていろいろを知って、新しい世界を知る貴重なチャンスでした。

大学の見学ツアーに何度も参加しました。船に乗ったり、ふぐ料理を食べたり、全部初体験でおもしろかったです。いちご狩りや釣り体験も楽しかったです。初めて海外で旧正月を祝いました。家族と離れるのは少しつらかったですが、みんなと一緒にごはんを食べ、にぎやかに話し、全然寂しいと思わないぐらい幸せでした。旅行は東京ディズニーランドとUSJに行きました。写真で見ていた夢の国に入ったときすごく不思議に感じました。

5月から年号が変わりました。まさか新しい時代の始まりを体験することができるとは思わず、とてもすばらしかったです。この時の連休はどこにも行かなかったのですが、新しい時代の幕開けを機に、自分もリフレッシュしたいと思っていました。

一年という時間は知らないうちに過ぎてしまいました。数え切れない思い出ができ、とても幸せです。下関は穏やかな町で、私の心を癒しました。のんびりした生活を送り、自分の国とだいぶ違うペースで生活しました。もうすぐ国に帰りますが、最後まで素敵な思い出作りをしようと思っています。

下関市立大学に一年の経験

氏名：アザワール アミン (特別聴講学生)
出身大学：ルートヴィヒスハーフェン経済大学 (ドイツ)
留学期間：2018年9月～2019年8月



私は山口県の下関市に1年間留学した。どうして下関市立大学を選んだか？希望大学を考えている時に、勉強しに大都市へ行くより田舎へ行った方がいいと思ったからだ。留学開始前の私の日本語レベルは非常に低かった。それに下関市立大学の授業はかなり大変そうだから、下関市に行こうと強く思ったのだ。

留学準備は、大学から送られた書類を記入後に、ミュンヘンヘビザを申し込みに行き一週間後受け取った。シンガポールエアラインで福岡へ行き、空港でチューターに迎えられ、タクシーで大学へ直接行った。国際交流センターの田中さんから紹介されて、寮に部屋を構えた。

ドイツから派遣留学で来た私達の日本語レベルがかなり低かったため、最初の頃はよく問題が起きた。英語が話せる学生もあまりいなかったし、他国から来た留学生はもうN1かN1合格を目指していたので授業のレベルもかなり難しかった。しかし、2、3ヶ月間後、私たちの日本語は非常に良くなったと言われた。

秋学期にはほとんど日本語ばかりの授業を履修し、漢字や文法授業を学んだ。これ以外には週に一回、スポーツ実践やコンピュータ活動の授業を受けた。その他にForeign Studyと言う授業を取ることができた。この授業だけは英語で教えられていた。主にオーストラリアに関しての授業だった。

学校の良いところを上げると、国際交流センターが留学生のため、たまにイベントや遠足を設けてくれたことだ。例えば、山口の有名な角島大橋を訪ねた。大学の国際交流センターにはお世話になった。問題が起きた時に助けを求めたら、いつも職員からサポートされた。その上、授業のレベルは高いのに、より日本語が上達して、新しい事を幅広く勉強できた。

下関市は田舎でかなり静かな町だ。寮と大学は都心からとても遠かったし、遊ぶ場所、バーやクラブもほとんどなかった。居酒屋やファミリーレストランが非常に多い。遊ぶためには近くにある北九州の小倉が福岡に行かなければならなかった。

遊びやバイトをするためなら、下関は田舎なので大阪や東京を薦める。しかし全般的には下関市立大学で日本語レベルをかなり上げる事ができ、たくさんの忘れられない経験やいい友達が多かったので、誠に楽しい時間を過ごせた。

大切に大事な

氏名：金 智炫 (特別聴講学生)
出身大学：東義大学校 (韓国)
留学期間：2019年4月～2020年2月



4月1日、桜が咲く頃に来た日本。心の底まで冷える冬に帰ります。日本で過ごしたこの四季は一生忘れられません。最初に部屋に入った時、ベランダから見えた桜の花はこの1年間どのような思い出を残せるのだろうかときめかせてくれました。人見知りのわたしがどんな人に出会い、関わり合えたのでしょうか。

留学開始直後からバイトを始めました。学校だけではなくバイト先での出会いもありました。学校ではわたしと同じような留学生や同じクラスの人に出会えました。バイト先では年齢も学校も違う人たちに会い、いろんな社会的な経験をしました。様々な辛かった経験も今になっては全部思い出になりました。酔っぱらいが店長に暴力を振るって警察まで来た時は本当に怖かったです。しかし、この話は未だに仲間内では定番の話になるほど思い深い経験になりました。バイト先で出会った人は皆優しく外国人のわたしを気遣ってくれてありがたかったです。車がないからあまり観光できなかったわたしのために角島大橋や唐戸市場に連れて行ってくれました。そして、最後の勤務日の前日にお別れ会を開いてくれました。「いつもありがと」と聞いた瞬間、涙が出ました。

人見知りであまりいい性格でもないわたしが、一年という長くて短い期間で良い人たちに会ってこんな関係になるとは思わなかったです。真冬の寒さも耐えられたのは、この人たちの暖かさのおかげではないかと思えます。

1年間の日本生活

氏名：鄭 載濤 (特別聴講学生)
出身大学：木浦大学校 (韓国)
留学期間：2018年9月～2019年8月



日本が好きだった私が1年間日本留学できることは本当に夢のようでした。初めは期待と緊張を持って飛行機に乗り下関へ行った事が思い出されます。福岡空港に到着して「本当に私が今日本にいる」と実感しました。それから日本での生活を始め、学校に通いながら日本語の勉強もして日本の友達と楽しく遊びました。

日本に留学して上手く生活できるか心配でしたが、みんなとても親切で感動しました。いろいろなイベントにも参加し友達もたくさん作って楽しい時間を過ごせて本当に楽しかったです。最初の学期が始まり大学祭がありました。私は日本の学校の祭りをぜひ見たいと思いました。大学にはいろいろなサークルがあり、美味しい食べ物売り、メインステージではいろいろな公演をしていました。冬休みに韓国から友達と一緒に福岡旅行をしました。韓国の友達とは久しぶりに会ったので本当にうれしかったし、友達を案内してあげることが出来、私は日本語を学習したことが本当に誇りに思っています。友達を助けられることは本当に幸せでした。

日本で生活して一番良かった点は他の地域に簡単に旅行できる事でした。最も長く旅をしたのはゴールデンウィークでした。日本の長い連休だったので一週間旅行をしました。目的地の大阪だけでなく京都、奈良を回りました。日本での生活はとても楽しかったです。他の国籍の友達と遊び、日本の学校で日本語で授業を受けたり、日常から聞こえてくるのは日本語で、生活パターンも少しずつ日本に近づきました。私にとって今回の留学生活はたくさんの経験と良い思い出を残してくれました。こんな機会は二度と来ないと思います。1年間の日本での生活はたくさんの考える時間を与え、人生のターニングポイントになりました。

留学生活が終わって韓国の生活に戻っても、日本で1年間経験した様々な努力を糧に、自分が今後何をすべきかについてもっと考え韓国でも面白く生きていこうと思います。短くて長い1年間本当に面白い留学生活でした。

新しい人達

氏名：朴 宰亨 (特別聴講学生)
出身大学：東義大学校 (韓国)
留学期間：2019年4月～2020年2月



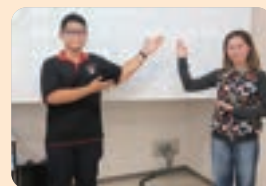
「令和」という年号が発表された2019年4月1日、留学生として初めて日本に到着した。旅行ではよく来ていたが、交換留学で日本に来て、新しい人々と生活しなければならぬことにときめきと不安を感じ熟睡できなかった。日本に来たばかりの時には新しい環境に適応できず、ただ時間を過ごした。しかし、せっかく留学したのだから何でもしなければならぬと思い、釣りやカクテル作りなどの趣味を探し、他の留学生たちと一緒に楽しみながら親しくなった。誰かの誕生日に食事会をしたり、カラオケに行ったりするささやかな生活が楽しかった。4月、5月にも迷わず率先して行動していたらもっと早い時期から生活を満喫することができたのではないかと後悔が少々残る。春学期の期末テストが終わった後は、中国からの交換留学生と熊本を旅行した。他の国の人と第3の国を旅行する経験は留学に来なかったらできなかった。

そんな夏休みを過ごした後、寮には新しい人たちがやってきた。新しい人と交流することを恐れて春学期の半分を無駄にしたと感じていたので「今回は私が先に近づこう」という思いで接した。みんなの時間を調整して会食の席を作ったり周りのお店を紹介したり、簡単なことだったがそれを私を親切な人だと思ってくれることがとても嬉しかった。

1年間の留学が終わる今、日本語で対話するのが案になったとか、料理することができる食べ物が増えたとかももちろん嬉しいことだが、初めて会った人に対する姿勢が少しでも分かるようになったのがさらに意味深い。留学に来てから様々な国の人、幅広い年齢の人に出会うことが出来た。みんなとてもいい人達で、そのおかげで新しい人と会うことに楽しさを感じる事ができた。そんな人達に会えた下関での生活がとても気に入った。

下関という所

氏名：ウォンシンハデーショー・ウッティボン（科目等履修生）
出身大学：タイ商会議所大学（タイ）
留学期間：2019年4月～2020年2月



日本に来て、様々なことが起こって喜びも悲しみもどちらもたくさんありました。気がつくと、もう一年が過ぎてしまいましたが、昨日来たばかりのように感じます。日本に留学したことで、やったことがないことや一度もやりたいと思ったことがないことなどでたくさん挑戦してみて好きになりました。新しい場所で新しい人たちと出会って、一緒にいい時間を過ごして、たくさんいい思い出が作れました。

日本へ留学に来て、日本について本やニュースなどを通じてではなく、日常生活や大学生活を通じて知りました。日本のことだけではなく、クラスメートが中国、韓国、ベトナム、トルコ、ドイツの人なので、色々な国のことも分かるようになりました。先生方も親切でいつも気遣ってくれたので、日本の大学生活がとても好きでした。それにチューターもいたので、問題があった時、日常生活も勉強のこともどんなことでもいつでも相談できて、手伝ってもらいました。

そしてサークルにも入って様々な活動をして、たくさん面白い人と出会って友達になりました。留学に来なかったら、こんなに素敵な人たちが下関くらい素敵なおとも知らなかったかも知れません。みんなのおかげで、僕にはこの留学がとても意味があり誠に感謝しています。下関で作った思い出は一生忘れられないと思います。

最後に、僕にとって下関という所は日本の一つの町だけではなく、たくさん思い出があって、大切な人がいる家で、またいつか必ず戻ってくる所です。

一年間の思い出

氏名：オズデル イレム ギュル（科目等履修生）
出身大学：ボアジチ大学（トルコ）
留学期間：2019年4月～2020年2月



日本での生活はあっという間に終わってしまいました。日本で過ごした楽しい日々と出会った人々を思い出して寂しさを感じ、一方家族や友達に会えるのに興奮し、不思議な気持ちです。帰国後は2年生になり卒業までまだ時間があります。日本語をさらに活かせるように勉強を続けます。いつか日本に戻ってくるかもしれません。今回予想していたよりもずっと多くのことを経験しました。忘れられない事を選んで書き記します。

まずたくさんの素晴らしい場所に旅行しました。門司港、小倉、長府に何回も行き、角島大橋の美しい景色を見たり、岩国の錦帯橋を歩いたり、萩焼を買ったりしました。バックパックだけを持って一人で、広島、京都、奈良、大阪、東京、大分にも行きました。時々疲れましたが、すべての瞬間を楽しみました。日本は旅行者にとって魅力的な国です。お気に入りの場所は鹿児島です。他の都市と比べ雰囲気が違い、恐らくそれは街中どこからでも見ることができる桜島の影響かもしれません。一日中噴火していて、土地全体に火山灰がありました。バスで桜島が近くに見える展望台まで行きました。色とりどりの火山灰で絵を描くワークショップにも参加しました。絵は帰ったらお祖母さんにあげようと思います。翌日指宿に行き、砂浴をして温泉に入り、爽やかな時間を過ごしました。

そして日本には美味しい食べ物がたくさんあります。それが5キロ以上太ってしまった理由です。食べたものすべてが美味しかったので、トルコでも時々日本料理を作ってみようと思います。料理をひとつ選ぶとしたら海鮮丼です。7月に以前ここで勉強していたトルコ人の先輩が訪ねてきました。その日、知り合いに角島大橋へ連れて行ってもらいました。帰りに海沿いの海鮮丼専門店に立ち寄りしました。当日に釣られた新鮮な魚をこんなに美味しい物もあるのだと思いながら全部食べ切りました。ぜひまた行きたいです。

最後に、一緒に勉強した面白い留学生の友達。お世話になった大学の先生方。国際交流センターの皆。国際交流センターで会った留学生と日本人の友達。チューターの方々。大和菜の優しい皆。山口銀行の留学生、寮母さん達、職員の方々。一緒にトルコ語を勉強した素晴らしい学生。トルコ好きな3組の夫婦。下関のトルコ人の皆。塾の英語が上手な先生。大学の玄関で毎日挨拶してくれた皆。近所のお祖母さん。バックギャモンの人。旅行中に会った皆。大変お世話になりました。また会える日を楽しみにしています。その日まで元気でいて下さい。

半年間の思い出

氏名：孫 明月（科目等履修生）
出身国名：中国
留学期間：2019年9月～2020年2月



2019年9月14日に日本へ来て半年がたちました。短い時間ですが、多くの事があり一生忘れられない思い出も沢山できました。留学が終わることを考えると非常に寂しくなりますが、離れる日が近づくにつれてさらに思い出が積もって来るように感じます。

9月に来たばかりの時、留学生のポンさんが私と陳さんを「あんのお」というおばあちゃんが経営していた食堂に連れて行ってくれました。初対面なのにこ馳走されました。料理を作るおばあちゃんの様子と祖母のことを思い出し、久しぶりに暖かい幸せを感じました。その後大学の守衛の直塚さんも来て、写真を撮りました。店のおばあちゃんともポンさんの知り合いなので、私たちのために果物を持って来てくれました。数日後写真をくれました。帰国したら、外国人や日本の方々にも優しくしないといけないと思いました。

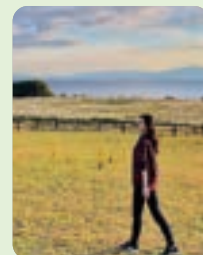
10月で一番印象に残っているのは大学祭とHALLOWEEN PARTYです。大学祭では屋はダンス、日本舞踊、歌などを見て楽しめました。放送部や写真部のブースでカキ氷やジュース、美味しい揚げたて焼きも買って食べました。夜の花火大会も楽しかったです。HALLOWEEN PARTYでは皆が仮装して夜の学校で、面白い話をしながら、美味しいお菓子を食ベゲームをしました。新しい友達もいっぱいできました。

12月に山口フィナンシャルグループ主催の国際授業活動で、中国の文化と大連の紹介をしました。下関市立川中西小学校の児童たちに向けて授業をし、両国の理解と友好交流に少しだけですが尽力できたと思います。

留学で学んだ言語知識、技能を今後の仕事に役立てられれば、楽しくなると思います。元の職場に戻り、自分のポジションで職責を立派に果たします。この半年で山口県の景色の美しさ、文化の良さ、食べ物の新鮮さ、人々の優しさをいっぱい勉強しました。永遠に良い思い出になります。

短い半年間、長い思い出

氏名：陳 夢陽（科目等履修生）
出身国名：中国
留学期間：2019年9月～2020年2月



スマホのアルバムを見ていると、懐かしい思い出が次々と湧きあがってきました。

9月は緑の時でした。留学のために思いがけず初めて日本に来ました。12年ぶりに学校へ戻り、学生として勉強でき幸せでした。青島と緯度は同じくらいですが気温は高いです。道端にすくすく育つヤシの木同様、私も元気満々にやる気いっぱいの毎日を送る決意をしました。

10月は青の時でした。ずっと憧れていた沖縄へ旅行し、飛行機の中から俯瞰した透き通った海の色に、そして沖縄ならではの景色に癒されました。白い砂と、澄み切った海水でできた海は太陽光の加減でエメラルドグリーンから紺碧色まで微妙に色合いが変化していき美しいです。琉球王朝のシンボルである歴史が刻まれた首里城も見学し、時間を忘れるほどの美しさに浸りました。数日後に火災を知った時は涙が溢れて、言葉にならない痛みを感じました。中国では「明日と意外はどっちが先に来るのかわからない」という言葉があります。今を大切にしよう、心の赴くままに進めようと思いました。

11月は赤の時でした。大阪で久しぶりに友人と再会し友情が一番だと改めて感じました。友人が3日間ずっと、いろいろな名所を案内してくれ、紅葉の下で一緒に撮った写真を見る度に、お互いを支え合う友情を思い暖かく心強くなります。

12月は白い時でした。北海道で雪に覆われた街を見て、勇気を出してスキー場に行きました。何回も倒れた後、やっとスキーの技術を身に付けました。人生は様々な可能性があり自分で挑戦しなければ、将来どんな自分になれるか誰もわかりません。

このような信念のもと、今の私はここにいます。永遠に希望を持ち、より良い将来、より良い自分のためにチャレンジし続け、努力し続けます！

派遣留学

協定校への派遣留学

北京大学（中国）

青島大学（中国）

銘傳大学（台湾）

東義大学校（韓国）

木浦大学校（韓国）

釜山外国語大学校（韓国）

ロス・メダノス・カレッジ（アメリカ）

ディアプロ・バレー・カレッジ（アメリカ）

コントラ・コスタ・カレッジ（アメリカ）

アルゴマ大学（カナダ）

ボアジチ大学（トルコ）

ルートヴィヒスハーフェン経済大学（ドイツ）

クイーンズランド大学（オーストラリア）

クイーンズランド大学附属英語学校（オーストラリア）

グリフィス大学（オーストラリア）



北京大学（中国・北京市）

概要

北京大学は1898年に創設された中国初めての国立総合大学です。現在は、多様な部門の教育と研究の中心になる新しいタイプの教育機関になっています。その前身は清朝末に設置された京師大学堂で、辛亥革命の翌年である1912年に北京大学と改称し、1952年に現在の敷地に校舎を移しました。以降今日に至るまで中国の最高学府としての地位を内外に誇っています。

北京大学は、社会主義の近代化を追求するために専門的な知識と技術、そしてレベルの高い人材育成と科学の重要なテーマについての研究を連携させています。この連携は教育と研究の向上だけでなく、様々な分野の促進と相互作用を追求しています。

1950年代に外国人留学生の受入れを開始し、中国語教育にも力を入れています。北京大学は、大学や研究機関、ハイテク企業が多く集まり、中国のシリコンバレーとも呼ばれる中関村に位置します。北京の名所の圓明園や映画「西太后」の舞台となった頤和園も周辺にあり、落ち着いた環境の中で学習することができます。



学生数 約30,000人

学部

理学部

数理科学学院、物理学院、化学分子工学院、ライフサイエンス学院、都市環境科学院、地球および宇宙科学院、心理・認知科学院、建築・景観設計学院、情報科学及び工学部、電子工学科コンピュータサイエンス学院、工学院、コンピューター科学技術研究所、環境理学院、ソフトウェア&マイクロエレクトロニクス学院、国立ソフトウェア工学研究センター

人文学部

中国語文学院、歴史学院、考古学院、哲学および宗教学院、外国語学院、芸術学院、第二言語として学ぶ中国語学院、歌劇研究協会

社会科学部

国際関係学院、法学院、情報管理学院、社会学院、政府管理学院、マルクス主義学院、大学院教育学研究学院、ジャーナリズム・コミュニケーション学院、体育教研学院、ニュースおよびメディア学院

経済管理学部

経済学院、光華経営学院、人口研究所、国家発展研究院

医学部

基礎医学院、薬学院、公衆衛生学院、看護学院、医学人文科学研究所/基礎教育学部健康科学センター、継続医学教育学院、付属病院（8病院）

キャンパス

- 本部キャンパス 北京市海淀区頤和園路5号
- 海淀キャンパス 北京市海淀区学院路38号
- 昌平キャンパス 北京市昌平区十三陵鎮西山路口村
- 大興キャンパス 北京市大興工業開發区金苑路24号
- 無錫キャンパス 江蘇省無錫市濱湖区大学城狀元道5号
- 深圳キャンパス 広東省深圳市南山区西麗鎮水路2199号



Homepage : <http://english.pku.edu.cn/>

青島大学（中国・青島市）

概要

青島大学の歴史を遡ると、二つの源に辿り着きます。

一つは1909年に創立された青島特別高等専門学堂です。歴史の変遷に従い、その医学教育が異色を放ち、青島医学校、青島医科大学、青島医学専門学校と校名が変わる時期がありました。

もう一つは1924年に創建された私立青島大学です。その後国立青島大学、国立山東大学と呼ばれる時期がありました。1946年、国立青島大学は青島医学専門学校と合併し、医学院を設置しました。1956年、医学院は山東大学から独立し、青島医学院となりました。1958年に山東大学は済南に移り、1985年青島大学は再度創立されました。

1950年に創立された青島紡織技術学校は青島紡織専門学校、山東省紡織工業学校などの時期を経て、1978年に山東紡織工学院と改名されました。

1951年に創立された青島教師研修学院は青島師範学校などの時期を経て、1981年に青島師範専門学校に改名されました。

1993年、その同時の青島大学、青島医学院、山東紡織工学院と青島師範専門学校の四校は合併して、今の青島大学となりました。



学生数 約46,000人（内 大学院生9,800人、留学生1,600人）

学院

理学 工学

材料科学と工程学院、電子情報学院、紡織服装学院、化学化工学院、環境科学と工程学院、機電工程学院、コンピュータサイエンステクノロジー学院、生命科学学院、データ科学とソフトウェア工程学院、数学と統計学院、物理科学学院、応用技術学院、自動化と電気工程学院

人文学 社会学

公共外国語教育学院、国際教育学院、法学院、経済学院、観光と地理科学学院、マルクス主義学院、美術学院、商学院、師範学院、教師教育学院、体育学院、文学院、外国語学院、マスメディア学院、音楽学院、哲学と歴史学院、政治と公共管理学院

医学

公共衛生学院、看護学院、基礎医学院、口腔医学院、薬学院、附属病院、附属心臓血管病医院



キャンパス

浮山キャンパス（本部キャンパス）

青島市寧夏路308号

金家嶺キャンパス（イーストキャンパス）

青島市嶗山区科大支路62号

松山キャンパス（ウェストキャンパス）

青島市北区登州路38号

Homepage : <http://english.qdu.edu.cn/>



留学を終えて

所属：国際商学科
氏名：高橋 俊司

留学前に、留学の体験談やアンケートを見ていたので、万全な準備をして青島へ向かいました。迎えが来ないなどは承知であったため、予め本学へ交換留学していた中国人の友達にある程度の生活ができる段階まで手伝ってもらいました。履修の件についても、下関市立大学に正規授業料を収めているのに片手程度の科目しか青島大学では履修できないことも知っていましたが、留学中は語学学修に専念できることをありがたく思う気持ちでストレスを昇華していました。



留学時の授業形態は、簡潔に言うとただ中国語を学ぶだけであって、授業を通して中国人と交流する機会はなかったです。そのため自力でネイティブの友人を作るしかありません。留学を終えて気づかされたことは、中国人の友達がいない留学生の場合、結局話している言葉は留學生用の中国語にとどまっていた。私は青島大学の日本語学科の学生と仲が良かったので、よく日常会話で使う表現を教わりました。また、日本人の友達をあえて作らなかったため中国語を使う場面が多かったと感じています。

生活では英語を使う機会もかなり多かったです。なぜならルームメイトが中国語を喋ることができないオーストラリア人だったからです。青島大学ではルームメイトの変更ができません。また、誰しもが流暢な中国語を喋るわけではないので運任せとなります。寮の居室内では中国語を使いたいと思っていましたが、彼は一向に上達せず最後まで私たちは英語で話し合っていました。そのおかげで英語も上達したという恩恵がありました。アジア人以外の方は基本的に英語で会話していたので、アジア人のグループとヨーロッパ人のグループに別れている状況でした。習慣の違いも目の当たりにしました。他国の留学生は文化の違いのため漢字を書くのが苦手で、テスト中もトラブルが多く、先生がもっと厳しくしてくれたら良いのにと感じました。その他にも、授業中の飲食などは当たり前のようにしていました。最初は罪悪感がありましたが、私もこの習慣に慣れてしまいました。正直に言うと、異文化など慣れたら何も不便とは思わなかったです。

この半年間の留學生活は良くも悪くも刺激的な日々でした。留學経験が無くても日本語が上手な中国人やトライリンガルの人、旅行が目的で留學した人たちなど様々な人を見て、自分の人生教材にしました。留學を通して、中国語への勉強意欲が上がったのは当然で、さらに英語ができれば世界で活動しやすいと気付かされました。半年間もの時間を語学に費やしたので、ある程度マスターすることは自分の責務だったと感じています。大学生生活の残り二年間は、世界的に価値ある人間になることを目指していきます。

帰国後アンケート

派遣先大学	青島大学		留学許可期間	2019年9月1日～2020年1月31日
国名	中国		留学期間	2019年9月3日～2020年1月15日
必要な語学レベル	HSK3級以上		(履修期間)	2019年9月8日～2020年1月7日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	7,000円
	海外旅行保険代金	35,430円 (歯科を含まない)		
	滞在費 (家賃)	18,000円/月	入居申請料	13,000円/年
	食費	20,000円/月	水道光熱費	3,056円/月
	通学費	0円/月	その他 ()	
	携帯電話代金	450円/月	インターネット代金	
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	
	Semester1授業料	0円/期	Semester2授業料	
	教科書代	5,000円/期	教科書代	
	小遣い	20,000円/月	その他 ()	
滞在先	滞在先名	敏行楼		
	滞在先方法	寮		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 他国の留学生と同居
	部屋に備え付けのもの	ベッド、トイレ、机、テレビ、シャワー		
	持参した方がよいもの			
食事のスタイル	朝食	夕食	昼食	大学の食堂
	夕食	大学の食堂	週末の食事	夕食
通学	自宅から大学までの距離	300m	通学手段	徒歩
	通学所要時間	2分	その他の場合に記入	
履習	Semester1で履修した科目	中国語総合、口語、リスニング		
	Semester2で履修した科目			
	平均授業時間	50分/授業	その他 ()	
課外活動	サークル等	なし	活動経費	
	活動内容			
留学して良かったこと	中国語以外にも英語を使う機会が多い。物価が安いので、やりたいことができる。			
留学したことで不利益になったこと	中国人と関わる機会は全くない。自ら機会を見つけるしかない。取得できる単位が圧倒的に少ない。			
留学を考えている人へのメッセージ	楽しさもストレスも有りましたが、私にとっては素晴らしい経験でした。大学生の時は時間があるので、行くななら今行っておいた方がいいです。			





銘傳大学（台湾・台北市）

概要

銘傳大学の前身は1957年に設立された「銘傳女子商業専科学校」で、台湾で最も歴史ある女子商業専門学校です。1997年に総合大学への昇格が認められ、現在では、修士課程、博士課程を併せ持つ男女共学の総合大学となっています。

2010年にアジア初の米国認証評価（MSCHE, Middle States Commission on Higher Education）取得大学となり、2012年に4月にアメリカのSaginaw Michigan州（サギノーバレー州立大学構内）にも分校を設立しました。

銘傳大学は、「国家、並びに社会の発展を支える、責任感・倫理観・国際的視野・ビジネス感覚を備えた専門人材の育成」を教育の目標としています。創設者は台湾の経済発展にはビジネス人材が欠かせず、若い世代の教育が非常に重要になるという信念のもとに開学し、現学長も、創設者のこうした理念を受け継ぎ、「知識経済」時代と言われる今日に求められる優秀な人材の育成に力を注いでいます。現在までに11万人を超える卒業生を輩出しています。



学生数 約20,000人（内 大学院生1,670人、留学生2,123人）

学部

学部は、管理、マスコミ、デザイン、情報、観光、教育応用語文、健康、社会科学、法律、国際の10学部です。キャンパスは、台湾の台北・桃園・金門・馬祖、そして米国のSaginaw Michigan州の5カ所にあり、学習支援を目的に、附属図書館・情報ネットワークセンター・総合教育センター・英語語学センター・中国語学文化センター・生涯教育センター・進路相談室・カウンセリング室・出版センター・教員育成センター・R&Dセンターなどが設立されています。また、金融リサーチセンター・メディアリサーチセンター・中国情勢リサーチセンター・SME インキュベーションセンターの4つの研究部門も併せもっています。



1990年に「応用日本語組」がつくられ、1996年に応用日本語学科が設立されました。修士課程もあります。常勤教員は教授2名、副教授9名、助理教授5名、専任講師2名（日本人教員はその内3名）です。『銘傳日本語教育』という研究誌も刊行し、日本語教育に関するシンポジウムも毎年行っています。

キャンパス

Taipei Campus	250 Zhong Shan N. Rd., Sec. 5, Taipei
Taoyuan Campus	5 De Ming Rd., Gui Shan District, Taoyuan City
Jihe Campus	3F-8F, No.130, Jihe Rd., Shihlin District, Taipei City
Kinmen Campus	105 De Ming Rd., Jinsha Township, Kinmen County
Michigan Location	Gilbertson Hall, Saginaw Valley State University, 7400 Bay Road, MI



Homepage : <http://www.mcu.edu.tw/>

東義大学校（韓国・釜山広域市）

概要

東義大学校は、釜山に15大学ある4年制大学のうちで、2番目に規模が大きく、美しいキャンパスを持ち、21世紀にふさわしい学生中心の教育環境と革新的な教育改革プログラムを提供しています。

東義大学校は1977年慶東工業専門学校を前身として設立されました。1979年東義大学に改編され、持続的な成長と発展を重ね、開校5年目の1983年に4年制の総合大学に昇格し、1989年韓医科大学が設立されて仁術を通じた社会奉仕の大きな役割を果たしている。現在9つの学部、6つの大学院、14の附属機関、40の研究施設、産学協力団傘下の16の附属機関と漢方医科大学附属韓方病院及び田浦総合社会福祉館、東義保育所があります。

また、スポーツの名門校でもあり、野球部、サッカー部の全国大会優勝をはじめ、フェンシング部はアジア大会においてメダルを獲得するなど、優秀な選手の育成にも努めています。さらに、映像大学ではイタリアの国際短編映画祭で特別賞を受賞するなど、様々な専門分野において優秀な総合大学です。



学生数 約22,000人（内 大学院生560人、留学生270人）

学部 9学部78学科

Humanities and Social Sciences（人文社会科学学部）

Business & Economics（商経学部）

Natural Sciences（自然科学部）

Nursing, Healthcare Sciences and Human Ecology（医療保健生活学部）

Korean Medicine（東洋医学部）

IT Convergence College of Components and Materials Engineering

（IT融合部品素材工学部）

College of Engineering（工学部）

College of ICT (Information and Communication, Technologies) Engineering

（ICT [情報通信、テクノロジー] 工学部）

Art, Design and Sport Science（芸術デザイン体育学部）



キャンパス

伽倻キャンパス 釜山広域市釜山鎮区巖光路176

楊亭キャンパス 釜山広域市釜山鎮区楊亭路52-57

Homepage : <http://eng.deu.ac.kr/main.do>





東義大学校での10か月間の 留学生活を終えて

所 属：国際商学科
氏 名：岩井 麻衣子

3月からの10か月間、釜山にある東義大学校に留学しました。韓国に留学することが高校生の時からの夢だったので決まった時は本当にうれしかったです。その反面こんなに長い時間を海外で過ごしたことがなかったので、正直少し不安もありましたが、留学が終わった今留学生活を振り返ってみると、辛いと感じたことはなく楽しかった思い出ばかりで、本当に充実した留学生活を送ることができたと思います。



この留学中に3つのことを目標としていました。1つ目はTOPIK5級に合格すること、2つ目は旅行などでは経験できないようなことを体験すること、3つ目は友達を作ることです。まず1つ目の目標を達成するために、語学堂で一生懸命勉強しました。語学堂では自分の語学力にあったクラスで勉強することができ基礎から教えてもらえるので、ここで習得したことは目標達成にとっても役立ちました。また、韓国人の友達や他国から留学に来た学生と韓国語を使って会話をしたことも語学力向上の助けになりました。次に2つ目の目標を達成するために、国際交流センターが主催してくださる体育大会や文化体験、企業訪問、シティーツアーなど様々な活動に積極的に参加しました。このような活動を通して普通では行くことができないような場所を訪れたり、企業を訪問したり、柏餅や石鹸作りの体験をしたりしました。特に思い出に残っているものは、留学生とチューターのみんなどと一緒に1泊2日で行ったMTです。ゲームをしたり、海で遊んだり、お酒を飲んだりとても楽しかったです。また土日や長期休みを利用して自分たちだけでチケットやホテルを予約して、ソウルや大邱、慶州、済州島など韓国の色々なところに行ったのも、とてもいい経験になりました。韓国語を使って3つ目の目標を達成するために行ったことは、現地学生に日本語を教える活動や国際交流主催の活動です。語学堂ではベトナムや中国、台湾から来た留学生と友達になり、お互いの国の言語や文化などを教え合いました。知らなかったことをたくさん知ることができ、その国に興味を持つことができました。また大学の授業では一生大切にしたいと思う友達にも出会えました。一緒に授業を受けたり、韓国の色々な場所に遊びに行ったり、旅行をしたり、ご飯を食べたり、この友達のおかげで私の留学生活は何十倍も楽しかったです。留学で出会った友達は私の心の支えになってくれました。

こんなにも楽しく充実した留学生活を送れたのは周りの人の助けがあったからだと思います。私が留学する中でサポートして下さった全ての人に感謝しています。韓国への留学を通して、語学力だけでなく、自分が思っていた以上にたくさんのものを得ることができました。これからも韓国語の勉強を続けながら、次の目標に向かって頑張ります。10か月間とても幸せで一生忘れられない時間となりました。本当にありがとうございました。

帰国後アンケート

派遣先大学	東義大大学校		留学許可期間	2019年3月1日～2020年2月29日
国名	韓国		留学期間	2019年2月26日～2019年12月26日
必要な語学レベル	TOPIK4級		(履修期間)	2019年3月4日～2019年12月20日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	
	海外旅行保険代金	89,650円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	52,500円/月	入居申請料	0円/年
	食費	37,700円/期(食券130食分)	水道光熱費	寮費に含まれる
	通学費	0円/月	その他()	
	携帯電話代金	39,600円/月	インターネット代金	寮費に含まれる
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	0円/期
	Semester1授業料	0円/期	Semester2授業料	0円/期
	教科書代	8,000円/期	教科書代	5,000円/期
	小遣い	45,000円/月	その他()	
滞在先	滞在先名	東義大大学校 第2ヒョミン生活館		
	滞在先方法	寮		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 日本人と同居
	部屋に備え付けのもの	机、ベッド、クローゼット、エアコン、Wi-Fiルーター		
	持参した方がよいもの	タコ足コンセント、パソコン		
	食事のスタイル	朝食付き	昼食付き	夕食付き
通学	自宅から大学までの距離	大学の敷地内	通学手段	バス
	通学所要時間	5分	その他の場合に記入	
履習	Semester1で履修した科目	語学堂、日本文化の理解と韓国文化、多文化の理解		
	Semester2で履修した科目	国際マーケティング、国際運送論、グローバル金融論、日本語会話基礎文型活用法 I、TOPIK II		
	平均授業時間	50分/授業	その他()	
課外活動	サークル等		活動経費	
	活動内容			
留学して良かったこと	語学力が上がったことと、色々な国の人とのたくさんの出会いがあったこと。			
留学したことで不利益になったこと	取得できる単位が少ないこと。			
留学を考えている人へのメッセージ	自分が思っている以上に色々な経験ができ、勉強以外にもたくさんのおもしろいことを学ぶことができました。少しでも留学を考えている人は、ぜひ挑戦してみてください！			



木浦大学校（韓国・務安郡）

概要

木浦大学校（The Mokpo National University）は、朝鮮半島南西部の重要都市である木浦市に位置しており、キャンパスは韓国で神聖視されている山の一つである僧達山（Seungdal-Mountain）のふもとにあります。

木浦大学校の第一の教育目標は、個々が選んだ研究分野における学術的理論や方法論を教えることで、才能ある学生を育成し国家および人類全体の繁栄に寄与することです。また、全羅南道における重要な高等教育機関としての役割を果たすため、アジア太平洋地域をはじめとした世界各地の大学との国際交流ならびに交流協定を推進し、木浦大学校を競争力のある国際的な大学にするよう意欲的に取り組んでいます。さらに木浦大学校は、理論と実践を兼ね備えた地域基盤の国際的な才能を養育・生み出すことで、地域発展につながるよう目指しています。

木浦大学校の教育哲学、教育理念である「創造・高潔・奉仕」に従って、地域社会を率いる力強いリーダーシップを持った人材を育てることに邁進しています。



沿革

- 1946年 木浦師範学校設立
- 1963年12月 木浦教育大学に改編
- 1978年 3月 木浦初級大学になる
- 1979年 3月 4年制の国立木浦大学になる
- 1990年 3月 総合大学に昇格し、木浦大学校となる



学生数 約13,000人（学部生 約11,600人、大学院生 約1,400人）

学部

- Humanities（人文学部）
- Social Sciences（社会科学学部）
- Natural Sciences（自然科学学部）
- Engineering（工学部）
- Business Administration（経営学部）
- Human Ecology, Arts and Physical Education（生活科学芸術体育学部）
- Education（教育学部）
- Pharmacy（薬学部）
- Liberal Education（教養教育学部）



キャンパス

- 木浦キャンパス 全羅南道木浦市南農路41番キル11
- 南岳キャンパス 全羅南道務安郡三郷邑南岳里2540
- 道林キャンパス 全羅南道務安郡清溪面柴山路1666

Homepage : <http://www.mmu.ac.kr/G5/>





木浦大学校留学体験談

所 属：国際商学科
氏 名：藤井 瑠南

韓国の木浦大学校へ約10ヶ月間留学しました。木浦は韓国の全羅南道に位置しており、日本から旅行でよく行くような所ではないので、留学を機に行ってみたいと思いました。また、田舎で日本人がほとんどおらず、韓国語を使う機会が多い環境で生活し、現地の人々と交流をしながら勉強したいと思い、留学を決意しました。

留学中は貿易学科に所属し、帰国後の単位交換も考慮して貿易、経済、金融など国際関係の授業を中心に履修しました。1学期は申請すれば語学堂に通うこともできます。私は語学堂には通わずに、現地の学生と同じように学科の授業を韓国語で受けました。最初は理解が難しいことが多くて苦労しましたが、留学期間の後半には聞き取りにもだいぶ慣れました。特にレポートなどの課題や試験勉強は大変だったので熱心に取り組みました。2学期には留学生のための韓国語発音の授業も取り、ネイティブに近い発音をしよう意識するようになりました。学校行事は、2泊3日のMT（メンバーシップ・トレーニング）、学祭、1泊2日の産業視察、留学生の体育大会、貿易の日の行事などがあり、積極的に参加しました。3月に行われたMTでは班に分かれてレクリエーションやスポーツ、料理大会をしました。たくさんの人々と交流し食事会を通して友達もできました。そして産業視察では、木浦港や重工業など様々な施設を見学して貴重な体験になりました。

留学した当初は不安もあり語学力に自信もありませんでした。しかし相手の話をよく聞き、自分から積極的に伝えようとする姿勢が大切だと感じ、交流を重ねていくうちに少しずつコミュニケーションが取れるようになりました。日本に興味のある友達が多く、韓国人の日本に対するイメージや日本文化などの話をし、相違点を発見することもできて面白かったです。しかし、会話の中でわからない単語がたくさん出てきて、意思疎通がうまくできずにもどかしさを感じることも多かったため、もっと勉強する必要があると思いました。友達に日本語を教えたりもしましたが、日本語の発音を韓国語で説明するのは難しいと感じました。また、休日は友達と光州、ソウル、釜山、大邱、全州、済州島など韓国各地を旅行し、観光や文化体験もしました。初めてのことでばかりの知らない土地で友達との楽しい思い出ができ仲間も深まりました。主な交通手段であるバスやタクシーを利用して1人で行動する力も身に付いたと思います。

留学生活を振り返ってみると大変なこともつらいこともありましたが、それよりも楽しい思い出が多く、本当に充実していてあっという間に感じました。留学を通して語学力や主体性、行動力などが向上し、留学前より様々な面で成長できたと感じ、とても貴重な良い経験になりました。支えてくださったすべての方々に感謝しています。



帰国後アンケート

派遣先大学	木浦大学校		留学許可期間	2019年3月1日～2020年2月28日
国名	韓国		留学期間	2019年3月1日～2019年12月26日
必要な語学レベル	TOPIK3級以上		(履修期間)	2019年3月4日～2019年12月19日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	0円
	海外旅行保険代金	75,240円 (歯科を含まない)		
	滞在費 (家賃)	35,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	寮費に含まれる	水道光熱費	寮費に含まれる
	通学費	0円/月	その他 ()	
	携帯電話代金	4,000円/月	インターネット代金	
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	0円/期
	Semester1授業料	0円/期	Semester2授業料	0円/期
	教科書代	3,000円/期	教科書代	3,000円/期
	小遣い	70,000円/月	その他 ()	
滞在先	滞在先名	木浦大学校 BTL (タソム館)		
	滞在方法	寮		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 日本人と同居
	部屋に備え付けのもの	ベッド、机、棚、シャワー、洗面台、トイレ、クローゼット、冷暖房、床暖房		
	持参した方がよいもの	パソコン、変換プラグ、常備薬		
	食事のスタイル	朝食 付き	昼食 付き	夕食 付き
通学	自宅から大学までの距離	500m	通学手段	徒歩
	通学所要時間	10分	その他の場合に記入	
履習	Semester1で履修した科目	韓日大衆文化の理解、国際取引情報論、グローバル企業論、国際経営戦略論、韓国貿易論、貿易学概論		
	Semester2で履修した科目	留学生のための標準韓国語発音練習、演劇の理解、国際運送論、経済統合論、国際金融論		
	平均授業時間	90～180分/授業	その他 ()	
課外活動	サークル等	活動経費		
	活動内容			
留学して良かったこと	韓国での生活や文化を体験でき、現地の人々と交流することでたくさんの友達ができたこと。			
留学したことで不利益になったこと	ゼミへの参加ができないこと。 3年次に行われる就職活動関係の説明会などに参加できないこと。			
留学を考えている人へのメッセージ	大変なことや楽しいことをたくさん経験して、語学に限らず多くのことを学び、自分自身が成長できる良い機会になります。現地では、行事参加や現地の人々との交流など、積極的に行動することが大切だと思います。			





釜山外国語大学校 (韓国・釜山広域市)

概 要

キリスト教精神に基づき設立された私立外国語大学で、語学教育を基盤とした多言語・多文化教育や、語学とIT又はビジネス関連技能を融合させるカリキュラムで、国際社会で活躍するグローバル人材の育成を目指している。また、日本語専攻者数が韓国内で最も多い大学で、日本人教員数も最も多く、日本との交流に積極的である。

学生数 9,574人 (内 韓国人学生8,877人、外国人留学生697人)

沿 革

- 1950年12月 財団法人盛昌学院設立
- 1981年11月 学校法人盛智学院に変更
- 1981年12月 釜山外国語大学設立
- 1982年 3月 釜山外国語大学開校
- 2014年 2月 南山キャンパスに移転



学 部

- 英日中
- グローバル人文融合
- グローバルビジネス
- グローバル創意融合
- グローバル I T

キャンパス

65, Geumsaem-ro 485beon-gil, Geumjeong0gu, Busan, Korea

Homepage : <http://www.bufs.ac.kr/>





ロス・メダノス・カレッジ (LMC) (アメリカ・ピッツバーグ)

概 要

ロス・メダノス・カレッジ (LMC) は、1974年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト (CCCCD) に属するコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ (CCC)、ディアブロ・バレー・カレッジ (DVC) に続く、3番目のコミュニティカレッジとして設立されました。LMCは、カリフォルニア州ピッツバーグ市に位置し、修業期間2年のコミュニティカレッジです。大学名の語源はスペイン語であり、ロスとは内陸、メダノスとは砂丘の意味で、内陸の砂丘の大学という意味になります。

メインキャンパスは、サンフランシスコの東約65km、オークランドのバークレイの東50kmに位置し、最寄りの空港はオークランド空港です。大学施設は、図書館、学部棟、プラネタリウム、音楽棟、陶芸棟など多くの建物で構成されています。2008年には新しく科学棟も設置されました。

学生数 約3,000人

専 攻

Administration of Justice (司法)、Anthropology (人類学)、Appliance Service Technology (電気サービス技術)、Art (芸術)、Automotive Technology (自動車技術)、Biological Science (生物科学)、Business (ビジネス)、Chemistry (化学)、Child Development (子どもの発育)、Communication Studies (コミュニケーション研究)、Drama (ドラマ)、Computer Science (コンピュータ科学)、Electrical Technology (電気技術)、Emergency Medical Services (救急医療サービス)、Engineering (工学)、English (英語)、Fire Technology (消防技術)、History (歴史)、Journalism (ジャーナリズム)、Kinesiology (運動学)、Liberal Arts (一般教養教育)、Management and Supervision (管理と監督)、Mathematics (数学)、Music (音楽)、Nursing (看護)、Physics (物理)、Process Technology (プロセス技術)、Psychology (心理学)、Real Estate (不動産)、Recording Arts (レコーディング芸術)、Sociology (社会学)、Transfer Studies (転送研究)、Travel Marketing (旅行マーケティング)、Welding Technology (溶接技術)、World Languages (世界言語)

キャンパス

2700 East Leland Road, Pittsburg, CA

Homepage : <http://www.losmedanos.edu/>





ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC) (アメリカ・プレザントヒル)

概要

ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)は、1949年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)に属する2年制のコミュニティカレッジとしてカリフォルニア州プレザントヒルに設立されました。

DVCはサンフランシスコから50kmの場所に位置し、Bay Area Rapid Transit (BART) という通勤電車の最寄り駅(プレザントヒル)までキャンパス内からバスが運行しています。DVCには74の学生サークルや組織があります。また、61ヶ国から集まった889人の留学生が学んでいます。

学生数 約6,726人 (フルタイム学生)

専攻

ビジネス、企業会計、経営管理、ビジネスマーケティング、ビジネス不動産、化学、コンピュータ科学、建設、料理芸術、ダンス、歯科助手、歯科衛生士、演劇、幼児教育、経済学、教育、電気/電子技術、エネルギーシステム、工学、工学技術、英語、ESL、環境科学、映画、テレビ、電子メディア、中国語、コミュニケーション研究、コンピュータ情報システム、コンピューターネットワークテクノロジー、アラビア語、建築、芸術、アートデジタルメディア、美術史、天文学、生物科学、薬物依存研究、司法、連合保健、人類学、フランス語、地理、地質学、ドイツ語、健康科学、空調、歴史、園芸、人文、工業デザイン、イタリア語、日本語、ジャーナリズム、運動学、図書館技術、数学、音楽、音楽産業研究、栄養学、ペルシャ語、哲学、体育理論、物理学、配管、政治学、心理学、呼吸療法、ロシア語、社会科学、社会学、スペイン語、特別教育、スピーチ、蒸気フィッティング 等

キャンパス

321 Golf Club Road, Pleasant Hill, CA 94523

Homepage : <https://www.dvc.edu/>





コントラ・コスタ・カレッジ(CCC) (アメリカ・サンパブロ)

概 要

コントラ・コスタ・カレッジ (CCC) は、コントラコスタコミュニティカレッジ自治区にある3つの大学(LMC、DVCそしてCCC)の中で最も古く、最も多様な大学です。主にラテン系、アフリカ系アメリカ人、アジア系の学生に教育を提供しているCCCは、サンパブロとリッチモンドのなだらかな丘陵地帯を走るワイルドキャットクリークに強調される、美しく自然豊かな83エーカーの敷地にあります。1949年の開設以来、ウェスト郡地域で唯一の高等教育機関として模範的な教育サービスを提供してきました。CCCは、毎年7,000人以上の学生に教育サービスを提供しており、優秀な教員とスタッフが最高の学習環境の構築に専念しています。

キャンパスには、2016年秋にオープンした新しい大学センターがあり、学生はすべての新しいアクティビティビルディング、本屋、ダイニングセンターを含む料理芸術プログラム施設を利用できるようになりました。キャンパスの中央には、新しい教室棟とコミュニティホール、キャンパスの管理スペースもあり、快適な居住空間で修学できます。

学生数 約1,651人 (フルタイム学生)

専 攻

司法、アフリカ系アメリカ人研究、人類学、芸術、自動車サービス、生物科学、ビジネス、ビジネスオフィステクノロジー、化学、コンピューター情報システム、コンピューターサイエンス、料理芸術、幼児教育、地球科学AS、経済学、救急医療サービス、工学、英語、ESL、健康教育、健康+ヒューマンサービス、歴史、ジャーナリズム、ラ・ラザ研究、教養学、数学、メディア、医療支援、音楽、看護、哲学、体育/運動学、物理学、政治学、心理学、不動産、社会学、スペイン語、スピーチ 等

キャンパス

500 Court Street, Martinez, CA 94553

Homepage : <https://contracosta.edu>



アルゴマ大学 (カナダ・スーセントマリー)

概要

アルゴマ大学での教育は、伝統と豊かな歴史に彩られています。1873年当時、シングウォーカーホールと呼ばれる北米先住民の子供たちが通う学校が設立されたのが始まりでした。

「小さな大学、豊かな教育」をモットーとしており、クラスの定員人数を少なく設定し、学生達に教室内での意見発表、活発なディスカッションを行い、独自の考えを持つことを推奨しています。授業が終わった後でも、サポートやガイダンス、指導などを気軽に受けられるようにしています。

また、アルゴマ大学は25以上の学位を授与できる多様性を備えている大学ですが、自分にふさわしい居場所を見つけられる、いわゆる「コミュニティ意識」を根付かせるのに手頃なサイズの大学です。

アルゴマ大学は3学期制度（秋学期：9月開始、冬学期1月開始、春学期5月開始）を採用しています。

校舎は、スーセントマリー市の昔ながらのランドマークとして有名で、セントマリー川を一望できます。また、スーセントマリー市は、世界保健機構（WHO）により、安全な国際コミュニティに指定されています。人口7万5千人のスーセントマリー市は、五大湖の中心部、アメリカとの国境に位置しています。地域の中心を担う便利な街というだけでなく、大自然の美しいアルゴマ地区がすぐそばにあり、都会のライフスタイルと精神的・身体的・社会的・文化的・知的な満足度高い日常生活の両方が手に入る都市のひとつでもあります。

学生数 約1,600人（内 留学生約20%）

専攻

会計学、アニッシミーパーモオィヌ（原住民の言語）、生物学、経営学、コミュニティディベロプメント、地域経済社会開発、コンピュータ科学、経済学、英語とメディア、金融と経済、美術、フランス語、地理学、歴史、法と司法、数学、音楽、政治学、心理学、ソーシャルワーク

キャンパス

Algoma University 1520 Queen Street East Sault Ste. Marie, ON

Homepage : <https://www.algomau.ca/>





留学を終えて

所属：国際商学科
氏名：田中 真穂

アルゴマ大学への留学を決めた理由は2つあります。海外で勉強し自分の視野を広げたい、肝心な時にいつも弱気になってしまう自分を変えたいと決意しました。

ずっと夢だったはずの留学でしたが、不安も常にありました。本当に授業についていけるのか、カナダでは日本人はどう思われているのか、そんなことばかり考えていました。大学には思った以上に日本人が多く、始めは毎日のように日本語を使ってしまう環境に戸惑いました。また、全て英語で行われる授業も私にとっては少しハードに感じることもあり、先生の指示が理解できなかった時などは、私はこのクラスにふさわしくないのではないかと自信がなくなっていきました。さらに、たくさんの課題やグループワークでの自己主張のできなさに何度もくじけそうになりました。授業以外でも、友達とトラブルになり、辛い思いをしました。そんな時力になってくれたのはホストファミリーでした。赤の他人である私に対して本当の両親のように接してくれ、どんな話も親身になって聞いてくれたことは何よりも嬉しかったです。



後期は残りの留学生生活を後悔なく終えるために、前期でできなかった分、とにかくたくさんの方に挑戦しました。ボランティアや学校のイベントに参加したり、自分から友達に話しかけたり、クラスメイトに参加できるイベントはないか質問したりして人と関わることを心掛けました。困った時は学校の職員の方や先生方への質問・相談をためらわず、時には不安や悩みも聞いてもらいました。始めはESLの学生である私が正規の学生も対象になる制度を利用することのためらいが有りましたが、大学の皆さんは「困ったときはいつでも相談に来て欲しい、そのための私たちだから」と全力でサポートしてくださいました。そのおかげでチューター制度やレポートの添削などが利用でき、これらがきっかけで人とのつながりを増やすことができました。休みの日にはホストファミリーと、また、一人でも旅行に挑戦しました。そこでたくさんの親切な方に会い、英語のコミュニケーションだけで旅行ができたことで自信もつきました。

日々いろいろなことに挑戦していく中で、私がいつも気を付けていたことがあります。それは人との接し方です。人の話をしっかりと聞き、笑顔と感謝の気持ちを常に忘れず、いつでも心から人と接していました。そうしているうちに、自分でも驚くくらい友達が増え、たくさんの人が私を気にかけてくれるようになりました。頼れる人達や私を必要としてくれる人達がいることは本当に嬉しく、自分が行動してこのような結果が得られたことは大きな自信になりました。留学前は常に弱気だった自分でしたが、今では前よりも少し堂々としていられるようになった気がします。

私の挑戦をサポートしてくれた方々、また、留学を通して出会った方々に本当に感謝しています。

帰国後アンケート

派遣先大学	アルゴマ大学		留学許可期間	2018年9月1日～2019年8月31日
国名	カナダ		留学期間	2018年8月28日～2019年4月28日
必要な語学レベル	IELTS 6.0点		(履修期間)	2018年9月4日～2019年4月8日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	21,297円
	海外旅行保険代金	67,540円 (歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	78,800円/月	入居申請料	30,000円/年
	食費		水道光熱費	
	通学費	0円/月	その他 ()	
	携帯電話代金	0円/月	インターネット代金	0円/月
	履修登録料		授業を受けるために必要なその他の費用	Ancillary Fees 約40,200円
	Semester1授業料	350,000円/期	Semester2授業料	560,000円/期
	教科書代	15,000円/期	教科書代	12,000円/期
	小遣い	30,000円/月	その他 ()	
滞在先	滞在先名	ホストファミリーの家		
	滞在方法	ホームステイ		
	滞在先の状況	同居者 無		
	部屋に備え付けのもの	勉強机・椅子、ベッド、タンス、ハンガーラック、ハンガー、冷暖房		
	持参した方がよいもの	洗濯ネット、飲み慣れた薬		
	食事のスタイル	朝食 付き	昼食 付き	
	夕食 付き	週末の食事	ホストファミリーが作った料理	
通学	自宅から大学までの距離	2.5km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	30分	その他の場合に記入	
履習	Semester1で履修した科目	Listening & Note Taking, Oral Presentation Skills, Grammar, Research Skills, Reading, Writing		
	Semester2で履修した科目	Reading & Writing Support, Integrated Skills, Introduction to Canadian Business, Community Economic and Social Development II		
	平均授業時間	90分/授業	その他 ()	
課外活動	サークル等	編み物部	活動経費	0円/月
	活動内容	週1回図書館に集まって編み物をしたり話したりする。		
留学して良かったこと	日本ではできないたくさんのことに挑戦できた。日本語に頼ることができず、かつ自分の力だけで何とかするしかない環境に自分を置くことで強くなった。外国人の友達がたくさんできた。			
留学したことで不利益になったこと	留学しない場合に比べて、取得できる単位が少ない。			
留学を考えている人へのメッセージ	どうしても留学に行きたい！という気持ちがあるなら、その気持ちは絶対にあきらめないでください。挑戦できる限り挑戦し続けてください。こんなはずじゃなかったのに、と思うこともあるかもしれませんが、くじけずに努力し続ければきっといい結果につながるはずです。そして、困った時助けを求めることをためらわないでください。			



ボアジチ大学 (トルコ・イスタンブール)

概要

ボアジチ大学（トルコ語：Boğaziçi Üniversitesi）は、トルコ共和国の西部に位置し、ボスポラス海峡を挟んで東西に広がるイスタンブール市にある国立大学です。「ボアジチ」はトルコ語で、ボスポラス海峡のことを指します。

1863年にアメリカ本国外に始めて創設された高等教育機関であるロバート・カレッジを通じてアメリカの教育システムを持つ大学として設立されました。

ボアジチ大学には、トルコの大学入試システムである YGS-LYS (Student Selection and Placement System) で入学を希望する学生が最も多い大学です。

ボアジチ大学には、9つの学部と43の学科があり、多くの学生が入学を希望していることにより、教育、工学、社会科学、応用化学の分野において、優秀な学生が多数入学してきます。



学生数 約15,000人（内 留学生約500人）

学部

Faculty of Arts and Sciences (学芸学部)

Faculty of Economics and Administrative Sciences
(経済学・行政学学部)

Faculty of Education (教育学部)

Faculty of Engineering (工学部)

The School of Applied Disciplines (応用分野学部)

The School of Foreign Languages (外語学部)

Ataturk Institute for Modern Turkish History

(近代トルコの歴史のためのアタチュルク研究所)

Institute of Biomedical Engineering (医用生体工学研究所)

Institute of Environmental Sciences (環境科学研究所)



キャンパス

South Campus Guney Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

North Campus Kuzey Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Hisar Campus Hiser Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Uçaksavar Campus Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Kandilli Campus 34684, Cengelkoy, Istanbul

Saritepe Campus Bogazici Universitesi Saritepe Kampusu 34450 Sariyer, Istanbul

Homepage : www.boun.edu.tr/en-US/Index



トルコ留学で得られたこと

所 属：国際商学科
氏 名：榎本 妃呂古

交換留学先のボアジチ大学はトルコの最大経済都市イスタンブールにキャンパスを構えた総合大学です。トルコ国内外から優秀な学生たちが集い日々勉学に励んでいる環境の中で、約10ヶ月間の留学生活を送ってきました。

そもそも、トルコの歴史や文化に対する知識はあまりなく、日本から遠く離れた未知の国という漠然とした印象しかなかったのですが、そのミステリアスな雰囲気惹かれて興味を持ち始めたことがトルコ留学のきっかけになったと思います。また、授業のほとんど全てが英語で開講されているため、トルコ国内だけでなく欧米諸国などからも多くの留学生を受け入れており、国際的な人脈を持ちたいということも留学を志した理由の一つでした。



しかし実際に現地へ足を運んでみると、学生や大学周辺地域なら英語で意思疎通ができるのですが、その他の地域では英語が通じないということが多々ありました。そのため、大学では専攻していた科目の授業とは別に、トルコ語の授業も履修し一から学修を始めました。留学生活が始してもまもなくの頃は専門性の高い英語での授業になかなか慣れることができず、また、トルコ語の授業も一からのスタートということもあり、1日1日がとても大変でした。ですが、現地で出会った様々な友人たちに支えられ、次第に留学生活を楽しむことができるようになりました。例えば、NITTOという日本人留学生とトルコ人学生たちの交流サークルに所属し、そのメンバーたちとお互いの言語を教え合ったり、パーティを開いたり、一緒に旅行をしたりなど、たくさんの思い出を作ることができました。また、ボアジチ大学に通うトルコ人の女の子3人とルームシェアをしており、困ったことがあれば相談に乗ってくれたり、トルコ語の勉強を手伝ってくれたり、時にはホームパーティを開催してくれたりと、とても居心地の良い環境で留学生活を送れました。

大学では、もともと興味があった経営学を専攻しました。実際に履修していたもので特に印象に残っているのは経営組織について学ぶ授業でした。毎回2~30人程度の少人数で授業が行われ、ただ受け身になって授業を聴くのではなく、グループを作って自分たちでフィールドワークを行いその結果をクラス全体で発表するなど、積極性を求められるものでした。そのため、なかなか自ら行動できなかった自分にとって非常にいい刺激となり、授業理解と同時にクラスメイトとも良くコミュニケーションを取ることができました。

留学中には、トルコが多くの国と隣接していることもあり、たくさんの国々を旅行することができました。ヨーロッパ各国を巡り日本とはまた違う文化に感性が磨かれ、時には広大なトルコを西へ東へと飛び回ったりもしました。そのような経験を通して世界の広さを痛感し、また、より世界を身近に感じられました。

「留学」といっても人それぞれに様々な目的があると思いますが、私にとって「留学」とは、単に語学能力を伸ばすことだけでなく、現地での生活を通して歴史や文化を知り、自らの視野を広げることだと思います。これからの人生もこの経験を活かして、彩りのある豊かなものにしていきたいと思っています。

帰国後アンケート

派遣先大学	ボアジチ大学		留学許可期間	2018年9月1日～2019年8月31日
国名	トルコ		留学期間	2018年9月10日～2019年7月21日
必要な語学レベル	IELTS 6.5点		(履修期間)	2018年9月20日～2019年5月20日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	4,280円
	海外旅行保険代金	89,650円(歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	20,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	15,000円/月	水道光熱費	4,100円/月
	通学費	0円/月	その他()	
	携帯電話代金	0円/月	インターネット代金	360円/月
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	0円/期
	セメスター1授業料	287,000円/期	セメスター2授業料	287,000円/期
	教科書代	1,000円/期	教科書代	500円/期
	小遣い	50,000円/月	その他()	
滞在先	滞在先名	Sermet Apt.		
	滞在方法	ルームシェア		
	滞在先の状況	同居者 有	同居者について	現地学生と同居
	部屋に備え付けのもの	ベッド、小さめのクローゼット、テーブル、椅子、ランプ、鏡、本棚		
	持参した方がよいもの	常用薬など、現地では手に入らないもの		
	食事のスタイル	朝食 自炊	昼食	大学の食堂
	夕食	大学の食堂	週末の食事 外食	
通学	自宅から大学までの距離	2Km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	18分	その他の場合に記入	
履習	セメスター1で履修した科目	初級トルコ語、組織経営論、ビジネス法、英語コミュニケーション技術発達学		16単位
	セメスター2で履修した科目	中級トルコ語、法学総論、経営システム論、体育		16単位
	平均授業時間	120分/授業	その他()	
課外活動	サークル等	日本文化サークル	活動経費	0円/月
	活動内容	日本文化の知識を広め、現地学生との交流を深める		
留学して良かったこと	日本では経験することのできない異文化体験ができたこと。また、英語以外のコミュニケーションツールとして、トルコ語取得ができたこと。			
留学したことで不利益になったこと	留学期間中に就職活動ができなかったため、市大での在学期間を一年延長したこと。			
留学を考えている人へのメッセージ	何をやるにも不安はつきものですが、頭でっかちになりすぎず、素直に自分のやりたいことをやってみましょう。留学に行くことがゴールではありません。留学に行ってからがスタートです。			





ルートヴィヒスハーフェン経済大学 (ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン)

概要

1965年に設立されたルートヴィヒスハーフェン経済大学は、ビジネス系の学術分野において、質の高い教育および研究に定評のある大学です。教学面での国際化にも非常に力を入れていて、海外でも高い評価を受けています。

2014年に本学との協定を締結した東アジアセンターは、1988年に設立され、経営学と日本学（または中国学）という二つの学科を、一つの専門コースとして組み合わせ、同時に学ぶことができるようになりました。約180人の学生は卒業時に日本または中国事情に詳しい「経営学士」の資格を得ることができますが、経営学士の資格を得る条件として、最低1年間の日本、または中国への留学を義務付けられています。

沿革

- 1988年－ラインラント・プファルツ州立大学 ルートヴィヒスハーフェン校にモデル校として試験的に「東アジアマーケティング学科」を設立
- 1992年－日本科を増設
- 1994年－第一期生 経営学士 (Diplom-Betriebswirt FH) として卒業
- 1997年－現在の建物に入居 「東アジアセンター」と名称の変更
- 2004年－卒業資格をDiplom からBachelor に変更
- 2008年－中部・東ヨーロッパセンター (MOI) 増設、設立20周年

学生数 4,500人 (内 留学生70人)

学部 4学部

- Department of Management, Controlling, Healthcare (管理、管理会計、医療介護学部)
- Department of Marketing and Human Resource Management
(マーケティング、人的資源管理学部)
- Department of Services and Consulting (サービス、コンサルティング学部)
- Department of Social Work and Health Care (福祉、保健医療学部)

キャンパス

4 67059 Ludwigshafen am Rhein

Homepage : <http://www.hs-lu.de/en.html>





ドイツの留学生活

所 属：国際商学科
氏 名：額田 真緒

「ドイツに留学したよ」というとみんな口をそろえて「なんでドイツなの？」でした。実は私ははっきりとした目標、目的があってドイツを選んだわけではありませんでした。環境問題に興味があって、いろんな国の文化を知りたくて、ヨーロッパの街並みにあこがれて。こんな風に漠然とした理由からドイツを選びました。英語もままならないのに、ドイツで生活なんかできるわけがない。周りの人にも言われましたし、自分でもわかっていました。けれど「ドイツ留学」という言葉は何よりも私をワクワクさせてくれました。

今まで何一つ自分の力で成し遂げたことがなかった私は、ドイツで1年近く生活することで、必ず自分の自信につなげることができると確信していました。

実際ドイツで生活してみると、自分がどれだけ甘い考えを持っていたのかを思い知らされました。日本で生活しているとき私はマジョリティでしたが、ドイツにいった瞬間からマイノリティに変わりました。今まで当たり前に通じていた言葉がつかえない、通貨が違う、肌の色が違う、食べ物が口に合わない。自分が日本でどれだけ楽に生活できていたかを痛感しました。大学が始まると授業内容が理解できない、友達がつくれないといった悩みも増えました。こんな状況で本当に1年も生活できるのかと不安でいっぱいでしたが、私と同じアパートに住む台湾人の学生がとても親切で、食事や旅行に誘ってくれたおかげで、とても仲良くなることができました。私の英語力は彼女たちのおかげで向上したといっても過言ではありません。

留学をするうえで、友人を作ることは何よりも大切だと思っています。落ち込んだ時に話を聞いてくれ、一緒に旅行に行き、授業を受け、ご飯を食べる。そんなことができる友人を作ることができれば、英語力が向上するのはもちろん、留学生活がより楽しいものになります。

留学生活すべてが順風満帆なものではありませんでした。ルームメイトとうまくいかない、旅先で差別を受ける、スリにあう、野宿をしたなど、枚挙に暇がありませんが、それでもなんとかかなりました。予定通り行くことなんかほとんどなかったです。けれど、そのおかげで私は強くなりましたし、どこでも生きていけるという自信ができました。

このように海外での生活を体験することでたくさん得られるものがあります。それは語学力であったり、忍耐力であったり、自分に自信を持つことであったり、人それぞれだと思いますが、必ず今後の人生においてプラスの影響を与えてくれるものです。

留学を決意することはかなり勇気が必要ですが、一歩踏み出すことができれば必ず自分の世界を広げることができます。私は、貴重な体験をさせてくれた周りの人々に感謝しながら、グローバル化が進んでいる世の中に少しでも貢献していきたいと思っています。



帰国後アンケート

派遣先大学	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	留学許可期間	2018年9月1日～2019年8月31日		
国名	ドイツ	留学期間	2018年9月14日～2019年6月18日		
必要な語学レベル	IELTS 6.0点	(履修期間)	2018年9月20日～2019年6月17日		
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	15,000円	
	海外旅行保険代金	89,650円 (歯科を含まない)			
	滞在費 (家賃)	38,000円/月	入居申請料	0円/年	
	食費	30,000円/月	水道光熱費	0円/月	
	通学費	2,500円/月	その他 ()	水道光熱費は寮費に含まれます。	
	携帯電話代金	0円/月	インターネット代金	寮費に含まれる	
	履修登録料	14,000円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	0円/期	
	Semester1授業料	287,000円/期	Semester2授業料	287,000円/期	
	教科書代	0円/期	教科書代	0円/期	
	小遣い	0円/月	その他 ()		
滞在先	滞在先名	Prinzregentenstrasse			
	滞在先方法	寮			
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について	日本人と同居
	部屋に備え付けのもの	ハンガー、Wi-Fi、机、椅子、ベッド、全身鏡			
	持参した方がよいもの	延長コード、変換機			
	食事のスタイル	朝食	自炊	昼食	大学の食堂
	夕食	自炊	週末の食事	付き	
通学	自宅から大学までの距離		通学手段	バス	
	通学所要時間	20分	その他の場合に記入		
履修	Semester1で履修した科目	ドイツ語、ビジネスイングリッシュ、ストラテジックマネジメント、プロダクションプランニング、ジャーマニートゥデイ、ビジネスプラン		10単位	
	Semester2で履修した科目	ドイツ語、ビジネスイングリッシュ、ビジネススキル		4単位	
	平均授業時間	90分/授業	その他 ()	なし	
課外活動	サークル等	なし	活動経費	0円/月	
	活動内容	なし			
留学して良かったこと	自分に自信がつく				
留学したことで不利益になったこと	就職活動				
留学を考えている人へのメッセージ	海外での生活は楽なものではないし、思い通りに行くことの方が少ないです。しかし、どこでも生きていける自信は尽きます。そして多国籍の人たちと交流することで自分の視野が広がります。不安もあるでしょうが、ぜひ日本を飛び出して世界を感じてください。				



クイーンズランド大学 (オーストラリア・ブリスベン)

概 要

クイーンズランド大学は1909年12月10日ニューサウスウェールズ州からの独立50周年を記念して州議会で設立を制定され、それから4ヶ月後にクイーンズランド州で初めての大学、オーストラリアでは5番目の大学として設立されました。1911年、83人の学生（23人の女性を含む）がブリスベンのジョージ通りにある総督官邸で初めての授業に出席しました。

第一次世界大戦が終戦に差し掛かった頃から、高等教育の増加に応じて、研究や教育が急速に成長し、1922年にビクトリア公園の場所（現在、一部Mayne Medical Schoolが占めている）はクイーンズランド大学の永住の地として確保されました。後にフォーガンスミスビルと名付けられた最初の建物は、1939年に完成しました。第二次世界大戦のときにはこの建物を軍事目的に転用し、南部西太平洋の陸軍連合のための高度本部として最初の役目を果たしました。クイーンズランド大学のジョージ通りからSt. Lucia 地区への移転は1946年から1972年の間に完了しました。

2014-15年の世界大学ランキングトップ100位以内に入るクイーンズランド大学は、オーストラリアで最も高いランクの学習教育機関の一つです。海外からの留学生や交換留学生は、クイーンズランド大学の全6学部、4,000コースのほとんどの授業を受講することができます。

学生数 約53,000人（内 留学生18,000人）

学 部 6学部

Business, Economics & Law（ビジネス、経済学、法学）

Engineering, Architecture & Information Technology（工学、建築、情報技術）

Health & Behavioural Sciences（保健、行動科学）

Humanities & Social Sciences（人文科学、社会科学）

Medicine（医学）

Science（科学）

キャンパス

St Lucia Campus The University of Queensland St Lucia QLD

Herston Campus 288 Herston Road, Herston, QLD

Gatton Campus The University of Queensland Gatton Campus QLD

Homepage : <http://www.uq.edu.au/studyabroad/>

※クイーンズランド大学との協定は2019年4月6日に終了しました。

今後はクイーンズランド大学附属英語学校との交流を続けていきます。





オーストラリア留学を終えて

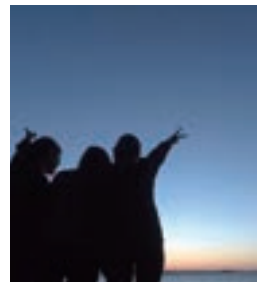
所 属：国際商学科
氏 名：中村 咲輝

交換留学制度を利用して、オーストラリアのクイーンズランド大学に10か月間留学しました。大学に入学した頃から留学したいという気持ちが強く、1年生の時に外国研修でオーストラリアに行った際、その多様な文化性に驚くとともに、もっと長い期間オーストラリアに滞在し、もっといろいろな文化に触れることで異文化や他国の様々な価値観、考え方を理解したいと考え、今回のオーストラリア留学を決めました。この10か月間は、想像もしてなかったような新しい事の連続と、またいい友達にも恵まれ、日本ではできないような貴重な経験がたくさんできました。

今回の留学では、1学期目は語学学校に通い、2学期目は大学の授業を履修しました。語学学校では、世界中から来た人たちと英語を勉強しました。日本で日本人と英語を勉強する環境とは異なり、英語以外にも学ぶことは多々ありました。また、5週間に1回クラスが変わったので、いろいろな人とクラスメイトになることができ、当初の目標であった異文化に触れる機会も多かったです。2学期目の大学の授業では、友達から聞いていてある程度想像はしていましたが、その想像を超える大変さでした。ほとんど毎日パソコンに向かい勉強していました。それでもディスカッションに参加できなかったこともあり、自分の語学力の無さや周りとの知識量の差等を実感し、辛い時もありました。しかし、そういう経験を経て、計画性、積極性、行動力等を得ることができました。

勉強以外にも、いい経験をたくさんすることができました。オーストラリアには、日本とは異なり、世界中から来た人々が多くいました。そのため、街を歩いていると学校に行っても、いろいろな言語が聞こえたり、街にはいろいろな国のレストランがあったり、日本ではあまり経験できない環境で生活することができました。友達も必然的に多国籍になり、その国の料理を振舞ってもらったり、その国について現地の人しか知らないようなことを教えてもらいました。また、それだけ多国籍な国だと、普通に生活しているだけで様々な文化や価値観に触れることができ、物事を多方面から見るができるようになるなど、帰国した今振り返ってみると、留学前と比べ内面が成長できたかなと感じています。

最後に、これから留学や海外生活を考えているみなさん、日本では難しいような経験をたくさんすることができます。私は、まだオーストラリアしか長期滞在をしたことがありませんが、世界にはいろいろな人がいて、それぞれ自分の文化や価値観を持っているということを、身を持って実感しました。時にはその違いに圧倒されることもありましたが、短期滞在や日本にいてはできなかったら貴重な経験をすることができました。もちろん楽しいことばかりではありませんでしたが、留学ができて良かったと心から思います。いろいろなことに挑戦して、楽しんでください。



帰国後アンケート

派遣先大学	クイーンズランド大学		留学許可期間	2019年2月1日～2019年12月31日
国名	オーストラリア		留学期間	2019年2月11日～2019年12月11日
必要な語学レベル	IELTS 6.0点		(履修期間)	2019年2月11日～2019年11月16日
経費	受入れ大学申請料	0円	ビザ申請料	50,000円
	海外旅行保険代金	50,000円 (歯科を含まない)		
	滞在費 (家賃)	42,000円/月	入居申請料	0円/年
	食費	30,000円/月	水道光熱費	滞在費に含まれる
	通学費	5,000円/月	その他 ()	
	携帯電話代金	3,000円/月	インターネット代金	滞在費に含まれる
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	0円/期
	セメスター1授業料	600,000円/期	セメスター2授業料	0円/期
	教科書代	30,000円/期	教科書代	0円/期
	小遣い	70,000円/月	その他 ()	
滞在先	滞在先名	ハウスシェア		
	滞在方法	ハウスシェア		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 現地学生と留学生と同居
	部屋に備え付けのもの	家具・家電		
	持参した方がよいもの	常備薬など		
	食事のスタイル	朝食	自炊	昼食
	夕食	自炊	週末の食事	自炊・外食
通学	自宅から大学までの距離	12Km	通学手段	バス
	通学所要時間	30分	その他の場合に記入	
履習	セメスター1で履修した科目	英語		
	セメスター2で履修した科目	ライティング、国際関係論入門、異文化交流		
	平均授業時間	110分/授業	その他 ()	
課外活動	サークル等	日本文化部	活動経費	500円/年
	活動内容	日本人と現地学生の交流		
留学して良かったこと	友人関係が広がる。英語が以前に比べ上達した。いろいろな国の文化や物の考え方に触れることができ、自分の視野が広がる。			
留学したことで不利益になったこと	就職活動が遅れる。4年生で取らないといけない授業が多くなる。			
留学を考えている人へのメッセージ	楽しいことばかりではなく、授業を受ける上で辛いことが多々ありますが、日本にいる時にはできなかったようないい経験ができると思います。頑張ってください。			



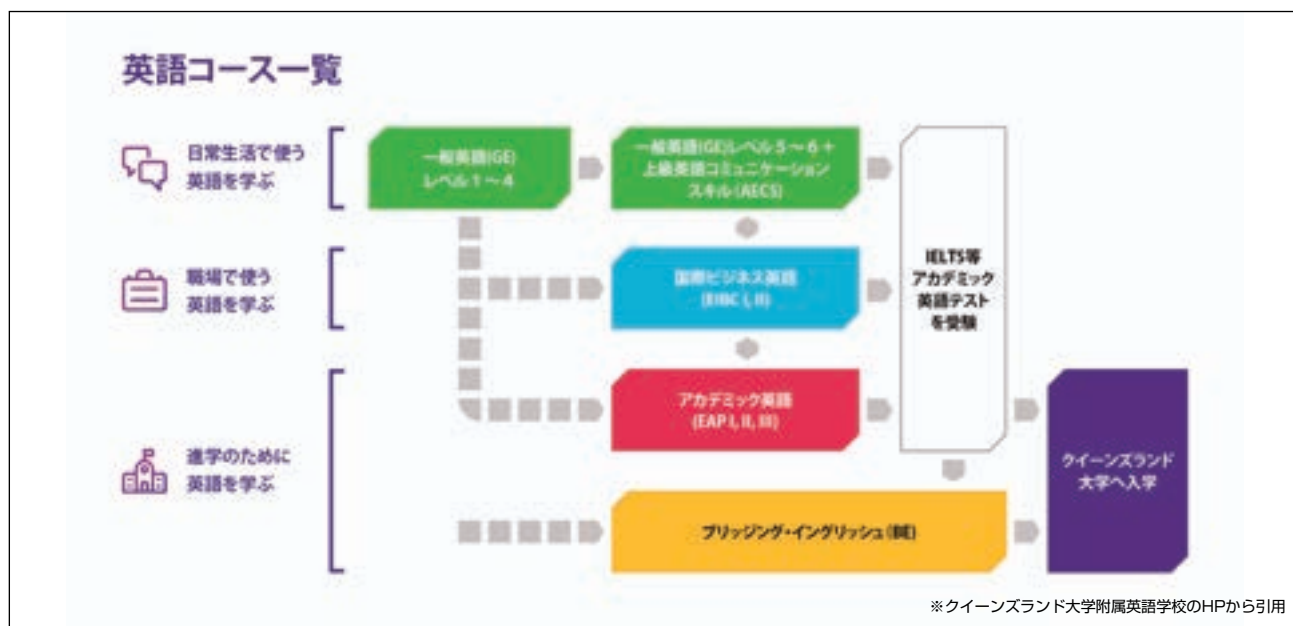


クイーンズランド大学附属英語学校 (ICTE-UQ) (オーストラリア・ブリスベン)

概要

クイーンズランド大学は1909年12月10日、ニューサウスウェールズ州からの独立50周年を記念して州議会で設置が決定され、4ヶ月後にクイーンズランド州最初の大学、そしてオーストラリアでは5番目となる大学として誕生しました。そのクイーンズランド大学のキャンパス内に1981年に設置されたクイーンズランド大学附属英語学校は、クイーンズランド州で最も歴史ある政府認定語学学校です。世界35～40か国から約1,500人の留学生が集まっています。その内の多くの学生がクイーンズランド大学への進学をめざしているため、学習へのモチベーションが高く、お互いに刺激を受け合いながら留学生活を送ることができます。

英語教育に関しては、受講者のレベルや学習目的に合わせて様々な英語コースが提供されています。どのコースも革新的な教授法や最新鋭の技術を使って、経験豊富な教師陣により教えられているので、受講者は十分なサポートを得ながら学習ができます。1クラスの人数は18名以下で、受講者は週20時間の対面式授業を受ける他、オンライン学習を利用し、ICTE-UQが提供する選択活動に参加することもできます。



キャンパス

St Lucia Campus The University of Queensland St Lucia QLD

Homepage : <https://icte.uq.edu.au/>



グリフィス大学 (オーストラリア・ブリスベン)

概要

グリフィス大学は、1971年に創立され、これまでに多様な研究分野を展開し、多くの卒業生を輩出してきました。130,000人以上の卒業生は、現在も国内外の各分野で活躍しています。

グリフィス大学はクイーンズランド州の州都ブリスベンと、観光都市として有名なゴールドコーストにキャンパスをもつ総合大学です。留学生を1988年に初めて受け入れ、現在は、約130ヶ国から集まった約9,000人の留学生が在籍しています。

また、オーストラリアで初めて環境学、アジア研究を取り入れたほか、芸術、医学、スポーツ科学、教育、ホスピタリティ、観光学、ビジネス、国際関係など、伝統的な専門区分にとらわれない幅広い学問的なプログラムを提供しています。幅広い領域にわたる教育研究を行っているため、1つの専門領域にだけに偏らない、複合した領域を学ぶチャンスに恵まれています。

学生数 約40,000人 (内 留学生 約9,000人)

主な専攻

Business and Government
Criminology and Law
Education
Engineering and Information Technology
Environment, Planning and Architecture
Health
Humanities and Languages
Music
Science and Aviation
Visual and Creative Arts



キャンパス

Nathan Campus	170 Kessels Road Nathan, QLD
Mt. Gravatt Campus	176 Messines Ridge Road Mt Gravatt, QLD
South Bank Campus	226 Grey Street South Bank, QLD
Logan Campus	68 University Dr Meadowbrook, QLD
Gold Coast Campus	Parklands Drive, Southport, QLD

Homepage : <http://www.griffith.edu.au/>





成長を感じた留学生活

所 属：国際商学科
氏 名：青崎 佑希乃

留学生募集締め切りのギリギリまで悩んで参加した留学を終えた今、決断してよかったと心から思います。留学当初の数週間は、スーパーに買い物に行き材料の購入、自動販売機で飲み物を購入、バスに乗る、ホテルの予約、電話で会話するなどの日本では何気なくしていたことも、オーストラリアではスムーズにできないことばかりでした。見るもの、体験することすべてが新鮮でわくわくしていた一方で、成功できるのか、しっかり自分の英語力で乗り切れるのかなど不安も感じていました。だからこそ、自分の英語力で目の前の問題を解決できた時や新しい文化を学べた時などの積み重ねで自信ができました。そして、もっといろんなことに挑戦したい、発見したいと思い、自分が疑問に思ったことはすぐに先生やホストファミリーに聞いたり、いろんな場所を訪れたり、学校主催のアクティビティに参加したりしました。今までの自分だったら強く興味を持っていなければ、挑戦することを億劫に感じ、しり込みをしていた私が、以前の自分のようにためらっている友人を誘う側になり、「考えるよりとりあえず行動に移そう」と常に思うようになりました。



今回の留学で、文化の違う人と話すことは楽しいと改めて思いました。それぞれ生まれ育った環境が異なるため、一つのテーマについて話し合うなかでYes, Noの意見は同じでも、そこに至るまでの考え方や理由が大きく異なることも多々ありました。だからこそ、日本の文化や特徴に気付かされることもありました。さらに、オーストラリア人をはじめ他国の友人は多くの日本人とは違い、思ったことを直接伝えてくれるので、初めは慣れずひどく落ち込むこともありました。言われたことの中には、自分自身ずっと変えなきゃいけないと思っていたこともありました。逃げずに自分の短所にしっかり向き合うようになるきっかけになりました。

留学中にたくさんの人と交流したり、様々な場所に行ったり、これまでにはなかったことを経験したことで、自分が何に興味を持っているのか、自分の長所と短所は何かなどを見つけることが出来ました。さらに、今までの自分がどれだけ時間を無駄にしていたかに気づきました。置かれている環境に文句を言うのではなく、行動に移すかどうかは自分自身だと強く感じ、重要なことだと思いました。留学を通して学んだこと、感じたことを、今後の行動に活かしていこうと思います。



帰国後アンケート

派遣先大学	グリフィス大学附属英語学校		留学許可期間	2019年8月13日～2020年3月31日
国名	オーストラリア		留学期間	2019年9月4日～2020年2月9日
必要な語学レベル	特になし		(履修期間)	2019年9月9日～2020年2月7日
経費	受入れ大学申請料	16,650円	ビザ申請料	45,800円
	海外旅行保険代金	70,000円 (歯科を含まない)		
	滞在費 (家賃)	70,000円/月	入居申請料	25,000円/年
	食費	25,000円/月	水道光熱費	家賃に含まれる
	通学費	0円/月	その他 ()	
	携帯電話代金	15,000円/月	インターネット代金	なし
	履修登録料	0円/期	授業を受けるために必要なその他の費用	
	セメスター1授業料	532,800円/期	セメスター2授業料	
	教科書代	0円/期	教科書代	
	小遣い	50,000円/月	その他 ()	
滞在先	滞在先名	最初の一か月：ホームステイ 残り期間：学内の寮		
	滞在方法	寮		
	滞在先の状況	同居者 有	同居者について	現地学生と留学生と同居
	部屋に備え付けのもの	机 クローゼット ベッド 天井ファン		
	持参した方がよいもの	薬 汗拭きシート 水筒 USB		
	食事のスタイル	朝食 自炊	昼食	外食
	夕食 自炊	週末の食事	自炊か外食	
通学	自宅から大学までの距離	2Km	通学手段	その他
	通学所要時間	15分	その他の場合に記入	スクールバス
履習	セメスター1で履修した科目	英語 (writing, speaking, reading, listening)		
	セメスター2で履修した科目	英語 (writing, speaking, reading, listening)		
	平均授業時間	120分/授業	その他 ()	
課外活動	サークル等	なし	活動経費	
	活動内容			
留学して良かったこと	様々な文化を持つ人と関わったこと。学んだ英語をすぐに実践できる環境に身を置けたこと。			
留学したことで不利益になったこと	特になし			
留学を考えている人へのメッセージ	少しでも留学に興味を持っているのなら、挑戦することをお勧めします。楽しいことだけではないからこそ、充実した生活を送れると思います。			



外国研修

夏季休業期間中に2～5週間、英語、中国語、朝鮮語の各語学の研修を行う正規の授業科目です。

秋学期に国際コミュニケーションの単位として認定されます。

2019年度外国研修 A (英語)

1. 研修先 クイーンズランド大学附属英語学校 (ICTE-UQ) (オーストラリア)
 2. 滞在期間 2019年8月17日(土) ~ 2019年9月22日(日)
 3. 授業期間 2019年8月19日(月) ~ 2019年9月20日(金)
 4. 引率教員 クリステン サリバン 准教授
 5. 参加人数 17名
 6. 研修内容



8月17日(土) 8月18日(日)	福岡～台北 (CI117) 21:00～22:25 台北～ブリスベン (CI53) 23:50～10:45 (翌日)
8月19日(月)	プレイスメントテスト クラス分け
8月20日(火) ～ 8月23日(金)	8:15～12:45 授業 午後 自由行動 (アクティビティの場合有り)
8月24日(土) ～ 8月25日(日)	終日自由行動 (アクティビティの場合もある)
8月26日(月) ～ 8月30日(金)	8:15～12:45 授業 午後 自由行動 (アクティビティの場合有り)
8月31日(土) ～ 9月 1日(日)	終日自由行動 (アクティビティの場合もある)
9月 2日(月) ～ 9月 6日(金)	8:15～12:45 授業 午後 自由行動 (アクティビティの場合有り)
9月 7日(土) ～ 9月 8日(日)	終日自由行動 (アクティビティの場合もある)
9月 9日(月) ～ 9月13日(金)	8:15～12:45 授業 午後 自由行動 (アクティビティの場合有り)
9月14日(土) ～ 9月15日(日)	終日自由行動 (アクティビティの場合もある)
9月16日(月) ～ 9月19日(木)	8:15～12:45 授業、達成度テスト 午後 自由行動 (アクティビティの場合有り)
9月20日(金)	授業 終業式・送別会
9月21日(土) ～ 9月22日(日)	ブリスベン～台北 (CI54) 22:50～05:45 台北～福岡 (CI110) 06:50～09:55

授業：1週間に20時間 (月～金は授業、土日は自由行動)

滞在：ホームステイ



外国語研修を終えて

所 属：国際商学科
氏 名：青柳 真基

私は8月の後半から9月の後半にかけて、英語の外国研修に参加しました。場所はオーストラリアの東部にあるブリスベンという街です。この研修に参加したことで英語の上達だけでなく様々なことを経験することができました。今思うのは本当に参加して良かったということです。

出発する前は5週間という長い間、行ったことのない異国の地で過ごすことをとても不安に感じていました。到着してみると日本と違う文化やシステムに戸惑うこともありましたが、同じ研修に参加している友達や引率して下さった先生やホストファミリー、語学学校のレセプションがあり、いつでも疑問や不安を解決する場がありました。オーストラリアの方々も優しく困っていたら助けてくれました。授業初日にバスを乗り間違えたのですが、運転手の方に事情を説明したら、大学へ行くバスに乗り換えられるところまでバスを回送中にして連れて行ってくれました。おかげでプレイメントテストに遅刻せずに済みました。

学校の授業は、8時15分から12時45分まで、休憩時間30分を含み合計4時間あります。通学時間がかかるので毎日7時前に家を出なくてはならず、慣れるまでとても辛かったです。初日のスピーキングやライティング、リスニングのプレイメントテストでクラス分けされます。1クラス15人強で、5~6人程度の小グループをつくりスピーキング中心の授業でした。最初は全くと言っていいほど言いたいことを伝えられなかったのですが、週を追うごとによく授業で使うフレーズなどが使えるようになってきたり、頭の中でバラバラになっていた文法などが整頓され話しやすくなったりして、日々少しずつですが語学力が向上しているのを実感できました。学校の授業が13時前に終わるので、午後は観光をしたり、映画を見たり、イベントに参加したり、友人と勉強したりと様々なことに時間を使うことができました。

5週間で多くの新しい考えやものの見方、価値観、常識に触れました。オーストラリアは日本よりも環境保護や動物愛護に関心のある方が多くいます。ヴィーガンの考えを聞き、話し合う機会もありました。食の現実を知った上で自分がどう向き合っていくかを考えるきっかけになり、今でも経済や政治の観点からヴィーガンについて調べています。他にも、多文化社会で様々な国から人が集まっているので、たくさんの方々と母国についての話をできたことがよい経験になりました。ニュースとは違った現実を知り、日本にいと気づかない日本の良さを他国の人から教わりました。英語が母語ではない者同士で話すときには英語という共通の言語があり意思疎通ができることに大きな感動を覚えました。さらに、日本からオーストラリアに来ている人たちとの出会いも興味深いものでした。母国の人が外国で目標を持ち過ごしているという事実は私に勇気をくれました。

終わってみると、出発前には長いと感じていた5週間もあっという間でした。この研修を通じて色々な経験ができたこと、沢山の人たちに出会えたことは本当に幸運だったと思います。



夏期語学研修参加者レポート

研修先	クイーンズランド大学附属英語学校	国名	オーストラリア	
期間	授業期間 2019年8月19日	～	2019年9月20日	
(33泊 34日)	滞在期間 2019年8月18日	～	2019年9月21日	
経費	研修代金総額		640,000円	
	内訳	おこづかい	140,000円 (備考)	
		授業料	200,000円 大学からの支援金 80,000円	
		通学費		
		渡航費		
海外旅行保険代金			(歯科を含まない)	
小遣い等の持参方法	現金	60,000円分	プリペイド型外貨ATMカード	80,000円
	クレジットカード	持参した	その他(トラベラーズチェック等)	
滞在先	滞在先名	ブリスベン		
	滞在方法	ホームステイ		
	同居者	無し	同居者について	
	食事	朝食 付き	昼食 外食	夕食 付き
	部屋に備え付けのもの	ベッド、タンス、棚、勉強机		
	持参した方がよいもの	ドライヤー、IC付きのクレジットカード、水筒 (水が高いのでみんな現地で水筒を買っていました)		
通学	自宅から学校までの距離	11km	通学手段	路線バス
	通学所要時間	100分	その他()	
履修	授業時間	1日の授業時間	240分	
		1週間の授業時間	20時間	
課外活動 (週末や授業終了後などに参加した活動など)	午後には毎日学校がアクティビティを開催しています (自由参加)			
	その他にもブリスベン市が行っている非ネイティブのためのEnglish Conversationグループや、ネットやアプリでイベント (スポーツや文化交流など) を探し、積極的に参加していました。			
	午後1時頃に授業が終わるのでクラスや市大の友達とランチや観光、ショッピングに行きました。			
良かったこと	英語力の向上。海外の友達ができ、伝えたい、話したいという気持ちが出てくるので帰国後のモチベーションにつながる。さらに、色々な人と話す中で新しい考えや見方を得たり、世界情勢や環境保護など日本にいるとなかなか考えないことについて考えた。			
不利益になったこと	帰国したら1週間もせず秋学期だったこと。			
参加を考えている人へのメッセージ	少しでも外国研修に興味があるのなら参加してみて欲しい。不安もたくさんあると思うが、同じ大学の仲間や先生がいる学校のプログラムで海外に一度行ってみることは安心です。研修を楽しんでください。			



2019年度外国研修 A (中国語)

1. 研修先 青島大学 (中国)
2. 滞在期間 2019年9月7日(土) ～ 2019年9月21日(土)
3. 授業期間 2019年9月9日(月) ～ 2019年9月20日(金)
4. 引率教員 馬 叢慧 特任教員
5. 参加人数 27名
6. 研修内容

9月7日(土)	福岡空港発 青島空港到着 入国手続き、青島大学へ移動
9月9日(月)	開講式・授業開始 歓迎会
9月10日(火) ～ 9月13日(金)	8:30～12:00 授業 午後:文化体験 (中国カンフー等) 青島大学日本語学科の学生と交流
9月14日(土)	嶗山観光
9月15日(日)	終日自由行動
9月16日(月) ～ 9月19日(木)	8:30～12:00 授業 午後:文化体験 (中国カンフー等) 青島大学日本語学科の学生と交流
9月20日(金)	達成度テスト 終業式・送別会
9月21日(土)	青島空港発 福岡空港到着 入国手続き、解散

授業：1週間に22.5時間（月～金は授業、土日は観光または自由行動）

滞在：青島大学の寮





青島大学での外国研修を通して

所 属：国際商学科

氏 名：平 奈菜巴

私たち27名は夏休みの2週間、中国の青島大学で外国研修に参加しました。大学の授業で研修の説明を聞き、大学在学中にどこか海外に行ってみたいと思っていたので、中国を実際に自分の目で見ようと思い参加することにしました。

青島大学の生活は、8時30分から12時20分まで授業があり、午後は自由時間というスケジュールでした。授業は英語と中国語で受けました。説明や内容を理解するのはとても大変でしたが、先生は平易な英語と中国語で何度も繰り返して説明してくださったので、毎日充実した授業を受けることができました。一日中、中国語漬けだったので、より中国語が身に付いたと思います。私のクラスには、世界様々な国からの学生がおり、多様な国の学生が一つの同じ言語と一緒に学んでいるということが不思議な言い表せない気持ちでした。私たちと同じように中国語を学んでいる人たちが世界中にいると思うと一層モチベーションが上がりました。

青島大学で日本語や日本文化を学んでいる日本語学科の人たちと交流する機会もあり、お互いの国のことについて話しました。日本語学科の人たちは日本語が流暢で、外国の人にとっては難しいような言葉もたくさん使って話していて驚きました。一方私は、単語の羅列で何とか考えを伝えるのが精いっぱい、自分の言いたいことをきちんと伝えるのに長い時間がかかり、中国語の未熟さを痛感しました。日本語学科の人たちと交流してたくさん思うところがあり、言語は地道にコツコツ勉強し続けることが大切だと改めて思いました。

午後の日本語学科や日本語コーナーで知り合った人たちに青島のいろいろなところに連れて行ってもらいました。研修でも市内観光や崂山登りやカンフー体験などが組み立てられており文化体験もすることができました。

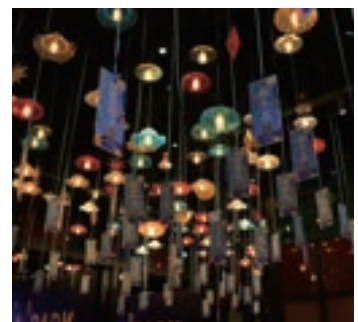
青島大学は規模がかなり大きく、大勢の留学生がいて、国籍も様々で世界中から集まっています。各国の留学生たちはとてもフレンドリーで、友達になりました。中国語で話すことで中国以外の国々の言葉や文化を知ることができました。そして、様々な国の人の価値観を知り、意見を聞き、刺激をたくさんもらい、自分の考え方も変わり視野が広がりました。知らないことはまだまだたくさんあると実感しました。日本について聞かれたときに、日本のことをあまり知らない自分がとても恥ずかしく、研修を通して、日本のことをよく知ろうと思いました。

外国研修でいろいろな人に会い、いろいろな意見を聞いて、自分の考え方がより一層深まりました。自分が想像していたことと違うこともたくさんあったし、自分の未熟さを感じることも何度もありました。2週間という短い期間でしたが、毎日が驚きの連続でとても充実した濃い2週間になりました。この経験で得たことは一生忘れないし、自分の人生の糧になると 생각합니다。この研修に携わってくださった、先生方、青島の人々、すべての人たちに感謝したいと思います。



夏季語学研修参加者レポート

研修先	青島大学		国名	中国
期間	授業期間	2019年9月9日	～	2019年9月20日
(14泊 15日)	滞在期間	2019年9月7日	～	2019年9月21日
経費	研修代金総額		128,380円	
	内訳	おこづかい	30,000円	(備考) 大学からの支援金 30,000円
		授業料		
		通学費		
		渡航費		
海外旅行保険代金		5,000円	(歯科を含まない)	
小遣い等の持参方法	現金	30,000円分	プリペイド型 外貨ATMカード	
	クレジットカード	持参しなかった	その他 (トラベラーズ チェック等)	
滞在先	滞在先名	青島大学		
	滞在方法	寮		
	同居者	2人	同居者について	市大の学生
	食事	朝食 コンビニ購入	昼食 学食	夕食 外食
	部屋に 備え付けのもの	机、ベッド、Wi-Fi		
	持参した方が 良いもの	洗濯用洗剤、ハンガー、洗濯ばさみ、お風呂セット、ドライヤー		
通学	自宅から学校 までの距離	0km	通学手段	徒歩
	通学所要時間	10分	その他 ()	
履修	授業時間	1日の授業時間	270分	
		1週間の授業時間	22.5時間	
課外活動 (週末や授業終了後などに参加した活動など)	観光(五四広場、青島ビール博物館、台東市場、嶗山太清宮、聖ミカエル大聖堂、回瀾閣、青島栈橋など)			
	カンフー体験			
	嶗山登山			
良かったこと	日本語学科の人たちが観光スポットや地元の飲食店などに案内してくれたこと、両替を定期的にしに来てくださったこと。			
不利益になったこと	特になし。			
参加を考えている人へのメッセージ	授業は分かり易く、丁寧に教えてくれるので、中国語のスキルは間違いなく上がります。中国の人たちは優しく、中国語が流暢に話せなくても最後までちゃんと理解しようと聞いてくれるので、積極的に話すのが大切です。様々な国の人たちとも交流することができ、たくさんの刺激をもらえます。気軽に参加するのもいいでしょう。自分の価値観が変わる、貴重な体験になると思います!			



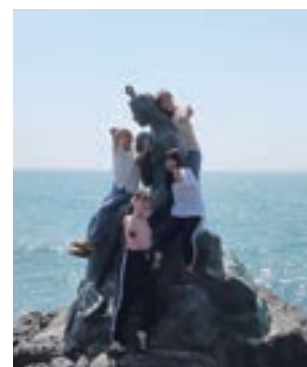
2019年度外国研修 A (朝鮮語)

1. 研修先 東義大学校 (韓国)
2. 滞在期間 2019年8月11日(日) ~ 2019年8月24日(土)
3. 授業期間 2019年8月12日(月) ~ 2019年8月23日(金)
4. 引率教員 呉 香善 特任教員
5. 参加人数 28名
6. 研修内容

8月11日(日)	福岡空港発 釜山空港到着 入国手続き、東義大学校へ移動
8月12日(月)	開講式・プレースメント 授業開始・歓迎会
8月13日(火) ~ 8月16日(金)	9:00~14:40 授業 14:40~自由行動 (アクティビティの場合有り) 東義大学校の学生チューターとの交流
8月17日(土)	屋外文化体験 (市内ツアー)
8月18日(日)	終日自由行動
8月19日(月) ~ 8月22日(木)	9:00~14:40 授業 14:40~自由行動 (アクティビティの場合有り) 東義大学校の学生チューターとの交流
8月23日(金)	達成度テスト 終了式・送別会
8月24日(土)	釜山空港発 福岡空港到着 入国手続き、解散

授業：1週間に20時間 (月～金は授業、土曜日は市内ツアー、日曜日は自由行動)

滞在：東義大学校の寮





外国研修A（朝鮮語）に参加して

所 属：国際商学科

氏 名：竹田 静華

夏休みの2週間、韓国釜山広域市にある東義大学校で行われた外国研修に参加しました。外国研修への参加は2回目だったので生活への不安はあまりありませんでした。

平日の午前9時から12時過ぎまで2コマの授業、午後はチューターとの韓国語練習の時間がありました。授業はプレイスメントテストで4つのクラスに分けられました。私のクラスはほとんど韓国語での授業だったため、リスニング力を鍛えることができました。授業中は発言する機会が多く、自分の考えを韓国語で伝える練習になり、間違いを恐れず声に出すことの重要性に気付きました。クラスにはレベルの高い学生ばかりで最初はついていけるか不安でしたが、その環境が良い刺激となり緊張感をもって授業を受けることができました。

午後の韓国語練習の時間には、チューターと一緒に課題をしたり、ゲームをしたりして過ごしました。チューターの中には日本語が話せる人も全く話せない人もいます。私のチューターは日本語が話せなかったので、韓国語で会話しました。間違っただけの発音や聞き取れなかった単語は理解するまで丁寧に教えてくれました。課題を見てもらうときには、意味は同じでも違う言い回しをするものやよく使う単語なども教えてくれました。勉強だけではなく、互いの国についての話やゲームなどもしました。知っているゲームを韓国語でするのは初めてで新鮮でした。チューターと積極的にコミュニケーションをとることで、日常会話の言葉を多く覚えることができました。

放課後は毎日街に出かけました。優しいチューターばかりで「2週間しかないのだから」と、買い物や地元のご飯が美味しい店に連れて行ってくれました。それが他のチューターとも仲良くなるきっかけとなり、交友関係も広がりました。街に出てみると、日本と似ている点や異なる点など多くの発見がありました。飲食店で注文したりタクシーに乗ったりしたときには、人数や目的地などを伝えなければならないため大変勉強になり、授業で学んだ韓国語を使って現地の人とコミュニケーションをとる楽しさを感じました。

韓国で過ごした2週間は本当にあつという間でした。短い期間でしたが、日本にはできない貴重な体験がたくさんでき、素敵な出会いに恵まれ、充実した研修となりました。特に、素晴らしい思い出を作ってくれたチューターにはとても感謝しています。日本に帰っても連絡を取り合い、韓国語を教えてください。また必ず会いに行きたいと思います。今回の研修で得た経験を今後の生活に活かし、ここでの出会いをこれからも大切にしていきたいです。



夏季語学研修参加者レポート

研修先	東義大学校		国名	韓国
期間	授業期間	2019年8月12日	～	2019年8月23日
(13泊 14日)	滞在期間	2019年8月11日	～	2019年8月24日
経費	研修代金総額		182,520円	
	内訳	おこづかい	60,000円	(備考) 大学からの支援金 30,000円
		授業料	80,500円	
		寮費	0円	
		渡航費	42,020円	
海外旅行保険代金		4,650円	(歯科を含まない)	
小遣い等の持参方法	現金	60,000円分	プリペイド型外貨ATMカード	
	クレジットカード	持参した	その他 (トラベラーズチェック等)	
滞在先	滞在先名	東義大学校		
	滞在方法	寮		
	同居者	1人	同居者について	市大の学生
	食事	朝食 学食 昼食 コンビニ購入 夕食 外食		
	部屋に備え付けのもの 持参した方が 良いもの	トイレ、シャワー、ベッド、机、クローゼット、エアコン ハンガー、ドライヤー、Wi-Fi		
通学	自宅から学校までの距離	大学敷地内	通学手段	徒歩
	通学所要時間	5分	その他 (備考)	
履修	授業時間	1日の授業時間	240分	
		1週間の授業時間	20時間	
課外活動 (週末や授業終了後などに参加した活動など)	野外文化体験(市内ツアー)：龍宮寺-海雲台海辺、ヌリマル-甘川文化村			
	文化体験：テコンドー、韓服体験			
良かったこと	語学力の向上、一対一でチューターがついてくれること、他大学の学生との交流			
不利益になったこと	特になし			
参加を考えている人へのメッセージ	旅行ではできない貴重な体験ができます。自分のレベルに合ったクラスで授業を受けることができるので、韓国語に自信がなくても心配ありません。研修先の先生やチューターがしっかりサポートしてくれるので、海外が初めてで不安という人にもおすすめです。			



その他の交流

生涯スポーツ

私費留学

国際インターンシップやPBL等による国際経験



韓国スキー実習 (生涯スポーツb)を終えて

所属：経済学科
氏名：泥谷 瑞芙

2月10日の夜に出国し、2月16日の朝に帰国という日程で、韓国へスキー実習に行きました。今回の実習ではソウルでの研修やスキー体験だけでなく、関釜フェリーを利用していたこともあり、釜山での研修も行いました。当初は日本で新型コロナウイルスが流行り始めた時期であり心配はありましたが、当時の韓国は日本よりも感染者が少なく影響はほとんどありませんでした。

不安もありましたが、今回の実習が人生初のスキー体験なのでとても楽しみでした。韓国はとても暖かく、スキー体験の初日は雪ではなく生憎の雨でした。しかし、雨の影響でスキー場の利用客がほとんどおらず、貸切状態でした。そのおかげでのびのびとスキー場を利用することができました。テンポよく教えてくださった先生方のおかげで、初日のうちにある程度滑ることができ、一気にスキーが楽しくなりました。

次の日は、前日の雨とは違って天気が良かったことや、韓国の春休みが始まったこともあり、スキー場は大変賑わっていました。ある程度前日の復習を兼ねて短いコースを滑った後、少し傾斜のある長いコースに挑戦しました。多くの人が滑っていたことや初めて滑るコースということもあり、最初は恐怖心が拭えず傾斜に体が怯みました。怖い思いながらも滑り切ることができた時は、達成感を味わえました。どんどん挑戦していこうと思い滑っていた矢先、凸凹に引っかかって転び、足首を痛めてしまいました。なんとか滑り切りましたが思いの外痛みが強く、座っていた私の元に、先生方だけでなく実習メンバーのみんなが駆け寄ってくれました。不安が募っていた私には、大変心強くありがたい出来事でした。先生方の迅速な対応もあり、すぐさまスキー場のレスキュー隊に担架で医務室へ運ばれました。幸い怪我の程度も軽く、病院に行くほどではありませんでした。ぐるぐると縛られた担架で、頭から猛スピードで滑りながら運ばれるとは思ってもいなかったのも、大変貴重で楽しい思い出となりました。

今回の実習では、たくさんの現地の方に助けていただきました。スキー場だけでなく、ソウルや釜山での自由研修の際にも多くの方に助けていただいたおかげで、本当に楽しく充実した日々を過ごすことができました。また、韓国の方のおもてなしは驚くほど暖かく、たくさんのサービスをしていただきました。日本では、日韓関係の悪化がよく報道されますが、実際に訪れてみると、日本人だからといって邪険に扱われることはありませんでした。これは、日本でも同じだと思います。あくまで政治は政治、人は人なので、日韓関係の過激な報道に惑わされることなく、今後も友好的な関係が続くことを祈っています。



参加者レポート

氏名	泥谷 瑞芙		学科・学年	経済学科 4年
研修先	スターヒルリゾートスキー		国名	大韓民国
期間	授業期間	2020年2月10日	～	2020年2月16日
経費	研修代金総額		123,000 円	
	内訳	おこづかい	33,000円	(備考) 学校から補助金 5千円 交通費は自由研修の際の金額 宿泊費, KTX, フェリー, スキー関係, 海外保険, ルーター等含め9万円事前徴収
		宿泊費		
		交通費	3,000円	
海外旅行保険代金		5,810円	(歯科を含まない)	
小遣い等の持参方法	現金	30,000円分	プリペイド型外貨ATMカード	
	クレジットカード	持参した	その他(トラベラーズチェック等)	
滞在先	滞在先名	スターヒルリゾート		
	滞在方法	コンドミニウム		
	同居者	3人以上	同居者について	市大の学生
	食事	朝食 付き	昼食 外食	夕食 外食
	持参した方が 良いもの	コンセントプラグ		
スキー	授業時間	1日のスキー体験時間	240分	
		期間中にスキーをした時間	8時間	
活動内容	初心者と経験者に分かれたのち、自分の実力にあったグループでスキー体験を行う。			
良かったこと	少人数での実習であったため、自分のペースで体験ができた。			
良くなかったこと	雪が固く、凸凹の場所が多くあった			
参加を考えている人へのメッセージ	スキーだけの実習ではないので、飽きずに楽しめます。			





釜山での3週間

所属：公共マネジメント学科

氏名：姫野 尚伽

私は韓国が好きでいつかは長期で留学に行きたいと思いますが、まずは短期の研修に参加してみようと考え、この釜山外国語大学校で実施される3週間の語学研修プログラムに参加しました。

研修は、知らない人ばかりの上に全てが韓国語で行われて、最初はかなり緊張しました。しかし、3週間も顔を合わせれば仲良くなり、韓国語にも耳が少しずつ慣れていき、わからないことがあってもクラスの友達と助け合って、1日4時間もある午前の授業は毎日あっという間に終わってしまいました。クラスにはフランスや台湾の人もいて、全員が未熟な韓国語で会話をするので自分の韓国語能力の低さをとても感じさせられ、勉強しないといけないと常に思われる日々でした。午後は交流会があり、韓国人を含む5人グループで釜山のさまざまな観光名所を回りました。週末は休みで、自分たちで好きなところに出かけました。一緒に研修に参加した市大の友達と出かけたり、市



大で留学生チューターとして交流をしている韓国人留学生の友達と遊んだり、普段日本ではできない新鮮な経験をたくさんすることが出来ました。この3週間で、語学力と生活力と行動力を身に付けたと感じています。語学力は、毎日韓国語の中で生活し、お金を払うときも、電車やバスやタクシーに乗る時も、もちろん授業でもすべての場面が韓国語なので、数字を聞き取ったりする力は向上しました。生活はわからない言葉ばかりで、辞書で調べながらでないと言いたいことが伝えられない環境なので単語量は確実に増えました。電車やバスなど公共交通機関で流れているアナウンスやどこに行っても書いているような言葉は、毎日見聞きするため自然に丸暗記し、毎日外に遊びに出ることで少しずつ言葉を覚えることが出来ました。

時間がもったいない！と毎日時間いっぱい遊びまくりましたが、そのおかげでたくさんの韓国人と話す機会があり、お店に入って自分で注文をして、韓国語を話すことが増え良かったと思います。もちろん机についての勉強も大切ですが実践学習が一番頭に入ると感じました。

自宅生である私には生活力が全くありませんでした。洗濯や食事、すべてのことを自分で行わないといけない環境で過ごしたことで自分が普段はあまり手伝いをしていないことや親の有難さに気づかされました。

ペラペラと話せるわけではない私の韓国語力は、伝えたいことは頑張れば伝えられるといった基礎レベルですが、釜山にいる間に頻繁に一人で外出しました。友達と時間が合わないときは一人で地下鉄やバスに乗って買い物などに行きました。他の人と出かけるるとつい頼ってしまうけれど、一人の時は自分で理解しないといけないので、行動力と語学力が一緒に身に付きます。

3週間は本当にあっという間で、環境に慣れてきたころに帰らないといけませんでした。やっぱり長期で留学して韓国語をペラペラ話せるようになりたいと改めて思った研修でした。

夏季語学研修参加者レポート

研修先	釜山外国語大学校		国名	韓国
期間	授業期間	2019年8月9日	～	2019年8月26日
(19泊 20日)	滞在期間	2019年8月8日	～	2019年8月27日
経費	研修代金総額		220,000円	
	内訳	おこづかい	60,000円	(備考)
		授業料	140,000円	
		渡航費	20,000円	
海外旅行保険代金		5,810円	(歯科を含まない)	
小遣い等の持参方法	現金	60,000円分	プリペイド型 外貨ATMカード	
	クレジットカード	持参しなかった	その他 (トラベラーズ チェック等)	
滞在先	滞在先名	釜山外国語大学校		
	滞在方法	寮		
	同居者	1人	同居者について	市大の学生
	食事	朝食 コンビニ購入	昼食 コンビニ購入	夕食 外食
	部屋に 備え付けのもの	Wi-Fi、クローゼット		
	持参した方が 良いもの	ハンガー、洗濯用洗剤、シャンプー、リンス、洗濯ネット		
通学	自宅から学校 までの距離		通学手段	徒歩
	通学所要時間	3分	その他 (備考)	
履修	授業時間	1日の授業時間	4時間	
		1週間の授業時間	24時間	
課外活動 (週末や授業終了後などに参加した活動など)	交流会 (5人グループになって観光やショッピング—甘川洞文化、海雲台、西面、南浦など)			
	慶州旅行 (1泊2日—仏国寺、大衆音楽博物館、慶州国立博物館、東宮と月池、慶州ワールド)			
	週末 (釜山アウトレット、西面、南浦、釜山大などでショッピングや外食をしたり、市大の韓国留学生と広安里で遊んだ)			
	文化体験 (韓国料理、韓国礼儀作法、韓国伝統衣装、K-POPダンス、伝統楽器、など)			
良かったこと	語学力向上、行動力向上			
不利益になったこと	アルバイトは約1か月ほど休みをもらわないといけません。			
参加を考えている人へのメッセージ	3週間毎日朝から晩まで韓国語で、授業もすべて韓国語で行うので数字などには強くなります。また研修参加者は100人以上いますがレベルテストがあるので自分にあったクラスで少人数授業を受けることができます。そして韓国人の友達以外にも全国さまざまな地域から参加しているので他県の日本人の友達もたくさんできてとても楽しめます。			





高麗大学校で得たもの

所属：国際商学科

氏名：山本 さくら

韓国ソウルの高麗大学校に9ヶ月間語学留学しました。この留学はたくさんの苦悩と大きな決意を持って臨んだものですが、このまま社会に出るには物足りない、やり残したことがあると思い留学を決意しました。

高麗大学校を選んだ理由は、韓国トップ3の一角で有名であり、市大生が誰一人行ったことがないからです。高麗大学校は広大な敷地に美しい建物、整備された芝生や木々の綺麗な景色が広がっています。語学堂はライシウムと韓国語教育館という2ヶ所に分かれています。

最初にオリエンテーションがあり、1級から学びたい人またはハングルも書けないという人以外は先生との個別面談があります。学生数が多いのでうまく話せなかったらどんどん質問が飛ばされて終わってしまうのだろうなと思っていましたが、先生は下手な私の韓国語でも真剣に聞いてくださいました。結果をネットで確認すると希望どおり2級からのスタートでした。

2級はライシウムで授業が行われていましたが、学生数の増加により新しく教育館が建てられました。改めて見るとライシウムは少し古い感じもしましたが、清潔だし一階にカフェもありました。授業は9時から50分の授業で4限目までありました。1学期の約3か月中、週間テスト4回、スピーチテスト1回、中間テスト、期末テストがありました。テストだけでは無く、どの級も1学期中に一度現場体験という、遊園地にいたり、有名な観光地にいたり、公演を観に行ったりという学外行事があります。2級の時はエバーランドという遊園地に行きました。この行事はクラスの友達、先生との交流も深まり毎学期楽しみでした。2級は日常会話の基礎を網羅しているので2級から始めて良かったと思います。基礎は勉強していたつもりでしたが、本だけでは掴めないニュアンス、重要なポイントをしっかりと学び理解することが出来ました。

3級ではスピーチのレベルが上がりました。実際に大学で通用するように細かく丁寧に指導してもらえるので基礎を作ることが出来ました。3級で習う文法は日常生活で一番よく使われます。3級を終えた後は友達との会話で自分の伝えたい事の微妙なニュアンスなどを前より伝えられるようになり、韓国語で話すのがもっと楽しくなりました。

4級では再びライシウムに戻りました。4級は最後の学期だったので勉強よりも友達と過ごす時間や2級の時から加入していたダンスクラブ活動に力を入れ、一番思い出深い時間を過ごしました。

この9ヶ月間はあっという間でした。満足したことも、努力が足りなくて上手くいかなかったことも、良いことも悪いこともいろいろな発見がありました。私なりに良いものに出来たと思います。この留学を通して得た経験、チャレンジ精神、友人の存在が私に自信を与えてくれました。一步踏み出して良かったと心から思います。これから留学に行く人、行こうか迷っている方の中には、留学することを決めてからも本当にこれでいいのだろうかと思悩むこともあると思います。しかし、決めたらあとは最高のものに作り上げるしかありません。難しいと思うこともやってみると案外できることが多いものです。挑戦してください。結果が良くても悪くても、きっと納得のいく次につながるものが得られると思います。



参加者レポート

留学先大学	高麗大 高麗大 高麗大		旅行期間	2019年3月4日 ~ 2019年12月3日
国名	韓国		留学期間	2019年3月5日 ~ 2019年11月29日
必要な語学レベル	なし		(履修期間)	2019年3月11日 ~ 2019年11月22日
経費	受入れ大学申請料	授業料に含まれる	ビザ申請料	0円
	海外旅行保険代金	210,860円 (歯科を含まない)		
	滞在費(家賃)	51,000円/月→40,000円/月	入居申請料	0円
	食費	30,000円/月	水道光熱費	家賃に含まれる
	通学費	0円	(その他)	
	携帯電話代金	2,300円/月	インターネット代金	家賃に含まれる
	履修登録料	授業料に含まれる	授業を受けるために必要なその他の費用	0円/期
	セメスター1授業料	169,000円/期	セメスター2授業料	169,000円/期
	教科書代	3,900円/期	教科書代	3,900円/期
	小遣い	0円	その他(奨学金)	30,000円/4級時のみ
滞在先	滞在先名	THE CLASSY (ワンルーム) →home with (コシウォン)		
	滞在方法	寮		
	滞在先の状況	同居者	有	同居者について 現地学生と留学生と同居
	部屋に備え付けのもの	基本的な家具全て		
	持参した方がよいもの	日本食のインスタント食品、パソコン、常備薬、変換プラグ		
	食事のスタイル	朝食	付き	昼食 大学の食堂
	夕食	外食	週末の食事 外食、自炊	
通学	自宅から大学までの距離	2km→100m	通学手段	徒歩
	通学所要時間	20分→3分	その他の場合に記入	
履修	セメスター1で履修した科目	韓国語(午前クラス)		
	セメスター2で履修した科目	韓国語(午前クラス)		
	平均授業時間	50分/授業	その他()	
課外活動	サークル等	ダンストンアリ	活動経費	0円/月
	活動内容	週1回、韓国人講師1名と15名前後の留学生で練習。修了式にあるトンアリの公演には希望者のみ参加。		
留学して良かったこと	語学力が向上したことはもちろん、様々な国の友人が出来たことで韓国のみならず他国の文化を知る機会に多く恵まれた。			
留学したことで不利益になったこと	4年次に休学したため就職活動に影響するかと思ったがそんなことはなく、留学を終えた新鮮な気持ちのまま就職活動に臨んでいる。			
留学を考えている人へのメッセージ	留学を考えている人の中には様々な状況や問題に置かれて厳しい人もいるかもしれないが、どうか諦めず留学に行ってください。今後の人生につながるものを得られるだろうし、何より学生時代に悔いを残して欲しくない。			





ニュージーランド留学体験記

所属：国際商学科

氏名：田中 美紀

留学先を決めるときに、安全で治安が良く人気のあるカナダ、オーストラリア、ニュージーランドの3国で迷っていました。ただ、カナダ、オーストラリアは以前短期ホームステイで訪れたことがあったので、一度も行ったことがない国にしようと思いニュージーランドに決めました。

初めは言いたいことが英語で全く言えず、とても悔しい思いをしました。自分に自信がなく、発言することや英語での会話に恐怖と抵抗がありましたが、勉強していくうちに少しずつわかる単語や文法が増え、どのように生活の中で使えば良いのかがわかるようになりました。私の語学学校の場合は入学初日にレベル分けテストがあり、その結果で7階級のうちのいずれかのレベルに振り分けられるシステムでした。40週間滞在中は8週間ごとにテストがあり、その都度レベルアップできるかの審査がありました。リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングのすべてのテストで合格点を取り、先生からの許可が出れば、進級できます。時期により異なりますが、日本人はクラスに3人位で、タイや韓国、日本などのアジア圏の他にブラジルやコロンビアなどの南アメリカからきた英語学習者が多いことが印象的でした。様々な国籍や人種、言語の友人と関わるので、どの国にもある独特のアクセントにも耳が慣れ、対応できるようになったことはメリットです。一方で、英語を第一言語とする友人を作ることが語学学校では難しかったです。語学学校を終えてみると、自分自身の英語力はもちろん伸びましたが、まだ満足いく結果には程遠いということを感じました。40週という期間は費用もかさむし、長すぎるので気持ちの緩みにもつながります。今回は学生ビザでの渡航でしたが、ワーキングホリデービザは費用も安く比較的簡単に取得可能なので、ニュージーランドへ行くことに興味がある人にはおすすめです。

滞在は、ニュージーランドについてから最初の8週間は、学校が手配したホームステイ先となります。語学学校内だけでなく家でも英語を使うことができる点や現地に住んでいる人から情報も得られ、教えてもらえる点、朝と夜の食事付きである点は、到着したばかりで不安が一杯で余裕のなかった私にとっては大変ありがたかったです。しかし、ホームステイは滞在費がとても高く、学校からの距離も遠かったので、早く引っ越したいと思うようになりました。ホームステイ期間終了後は、シェアハウスに住みました。ステイ期間終了の2週間ほど前からインターネットの住居情報交換サイトをもとに家を探しました。とてもきれいで広い部屋、かつ都心部に位置し、学校に近い物件であったためとても住み心地が良かったです。色々な経験と体験ができたニュージーランドでの研修でした。



参加者レポート

留学先	Aspire International		旅行期間	2018年3月10日 ~ 2019年 1月14日	
国 名	ニュージーランド		留学期間	2018年3月11日 ~ 2018年12月14日	
必要な語学レベル	特になし		(履修期間)	2018年3月11日 ~ 2018年12月14日	
経 費	受入れ大学申請料	800,000円/40週間	ビザ申請料	25,000円	
	海外旅行保険代金	50,000円 (歯科を含まない)			
	滞在費 (家賃)	ホームステイ 220,000円/8週間	入居申請料	ホームステイ	
		フラット 540,000円/36週間		フラット	
	食 費	ホームステイ 5,000円/週	水道光熱費	ホームステイ 滞在費込	
		フラット 10,000円/週 (アルバイト開始前)		フラット	
		フラット 5,000円/週 (アルバイト開始後)	通 学 費	ホームステイ 3,000円/月 フラット 0 円/月	
	その他		インターネット代金	ホームステイ 滞在費込 フラット	
	携帯電話代金	1,500円/月	その他 ()		
	教科書代	30,000円/期			
小遣い	50,000円/月				
滞 在 先	滞 在 方 法	当初8週間 ホームステイ 一般家庭 同居者有 ホストファミリーのみ 36週間 ルームシェア フラット 同居者有 日本人			
	部屋に備え付けのもの	ホームステイ ルームシェア ベッド、クローゼット、机、椅子、トイレ、シャワー	持参した方が 良いもの	ヘアードライヤー	
	食事のスタイル	ホームステイ 朝食・夕食 付 き 昼 食 週末 ルームシェア 朝食・夕食 自 炊 昼 食 週末			
通 学	自宅から大学までの距離	ホームステイ ルームシェア 1km	通学手段と 所要時間	ホームステイ ルームシェア 徒歩で20分	
履 修	履修した科目				
	平均授業時間		その他 ()		
アルバイト	店 名		内 容		
	就労時間		時 給		
留学して良かったこと	日本で生活しているだけでは出会えなかったような、様々な国籍や人種の人と出会うことができる。世界各国に友達ができる。語学力が向上する。いろいろな分野に興味を沸く。自分で考えて行動し、解決する力が付く。第2言語習得者の苦労や気持ちが理解できるようになる。				
留学したことで不利益になったこと	一年間休学したため、同級生と共に卒業できない。就職活動のスタートが遅れる。家族や大切な人に「もしも」の事があった場合、すぐに駆けつけられない。お金がたくさん必要。				
留学を考えている人へのメッセージ	チャレンジせずに後悔するくらいならば、チャレンジしましょう。全ては自分次第です。きっと今までは違う世界が待っています。				





新たな「場所」で新たな「物語」を —国際インターンシップやPBL等による国際経験—

所属：国際商学科

氏名：原口 将

私が国際経験をしたいという考えに至った原点は小学校と中学校の時期に約6年間アメリカで生活した経験まで遡ります。異文化体験と現地での生活を通して培った英語力をどこかで活かしたいという思いが、海外への関心につながりました。そして、「国際経験を通じて自分自身の今後のさらなる成長に役立てたい」という考えにつながり、国際インターンシップとFood Japan 2018に参加することを決めました。国際インターンシップとFood Japan 2018はどちらもシンガポールで行われ、日本とは異なる環境の中で様々な困難に直面しましたが、周りの方々からの支えも得ながら自身の成長を実感しました。

まず、国際インターンシップについて書きます。JTB Pte Ltdのシンガポール・アウトバウンド支店で3週間の経験を積みました。このインターンシップでシンガポールを初めて訪れたのですが、言葉や文化、食事などの違いを強く感じることも多かったです。特にシンガポールでは「シングリッシュ」と呼ばれる独自の英語が話されており、今まで学んできた英語が時には通じないということも経験しました。

インターンシップに参加するに当たっては、現地で働くためのワーキング・ホリデー・パスを取得する必要があるなど、慣れないことにも自分で対処する必要があったため様々な心配をしました。しかし、JTB Pte Ltdの皆さまは私のことを温かく迎えて下さり、旅行の企画立案から取引先企業への営業同行、実店舗での窓口販売に至るまで幅広く丁寧なご指導を頂いたことが嬉しかったです。JTB Pte Ltdでの仕事は難しいものも多く、壁にぶつかることもありましたが、お昼休みには社員の皆さまに毎日ランチに誘って頂き、食事を一緒にしたことでインターンシップに前向きに取り組むことができました。シンガポールは多民族国家であるため、1つの国で中華・インド・マレーなどの本格的な料理や、ホーカー・センターを中心に日本では見かけないローカル・フードも堪能することができました。（国際インターンシップの詳細な内容については『2019年度インターンシップ報告書』をご参照下さい。）

次に、Food Japan 2018について説明します。このイベントはシンガポールで開催された、日本の「食」に特化して行われるASEAN市場最大級の国際見本市です。私は企業と買い手をつなぐ通訳を務め実際の商談に同席し、現地シンガポール会場での商品提案にも携わることで企業の海外進出のサポートを行いました。Food Japan 2018への参加のために下関市では産官学連携の下、「地域商社」という1つのグループを作り出展し、森山先生のご指導の下で私を含む8名の学生が参加しました。学生は和菓子・お茶・日本酒・水産物を扱う4つの企業担当に分かれ、現地に行くまでに各班が企業との事前協議やJETROでの勉強会などへ参加し、各企業の商品だけでなく、Food Japan 2018の舞台となるシンガポールについての理解も深めました。私は初めて海外に進出する下関酒造株式会社の担当となり、会場では社名の入った法被を着て、企業および下関ブース全体をアピールしました。シンガポールにはムスリムの方も多く、試飲提供の際には日本酒を勧める難しさを感じることも多々ありました。「地域商社」内で積極的にアイデアを協議し、日本酒と魚介類の相性のよさを前面に打ち出した試飲をしようというプランによりシナジー効果も生まれました。その結果、下関の食品について知りたいという来場者も次第に増え、商品も完売して、契約締結にもつながりました。グループメンバーと協力関係を構築し、熱量のある「チーム下関」としての一体感が生まれましたことがFood Japan 2018で最も印象に残ったこと



です。

この2つの経験を通じて感じたことは「異文化を理解し、多様性を尊重する人間としての成長」が必要であるということです。シンガポールの国土面積は下関市と殆ど変わりませんが、小さな都市国家の中に様々な民族の人たちが暮らす多文化共生社会です。Food Japan 2018に参加して、異なるバックグラウンドを有する人々と接する中で自分とは異なる価値観や考え方を持つ人であってもその人のことを受け入れ、尊重できる人間になりたいという思いが強くなりました。

海外について直接知る方法は海外留学だけではなく、国際インターンシップやFood Japan 2018のように、短期であっても海外で交流に携わる機会は多岐に渡ります。留学でも国際イベントへの参加でも、真の国際交流を体感するためには海外の文化について知るだけではなく、日本のことについても深く理解する必要があります。これはアメリカでの生活時代から感じていたことですが、まずは自分の国の文化について深く知り、自分の言葉でそれを相手に伝えられるようになること。それが国際理解の第一歩です。自国のことについて詳しく知っているからこそ、海外文化の良さについて捉えることができ、「より広い世界」を見ることができると、シンガポールでの経験を通じて一層感じました。英語などの他言語を話せることは確かに重要ですが、それ以上に言語というツールを活用して相手に伝えるべき内容を自分自身の中で確固たるものとして持つことがこれからの時代に大切になってくるということ、大学在学中に異文化体験を通して体験して頂けたら幸いです。



海峡の英知。未来へ そして世界へ。

The wisdom of the Straits. To the future and to the world.

発行：2020年3月

編集：下関市立大学学務グループ 国際交流班

連絡先：〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号

電話 (083) 254-8693

FAX (083) 252-8099

URL <http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/kkc/>

印刷：泉菊印刷株式会社

〒752-0927 山口県下関市長府扇町8-48

電話 (083) 248-3553

FAX (083) 248-1492
